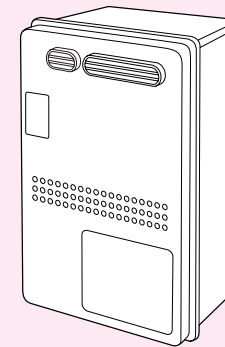




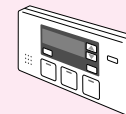
給湯暖房用熱源機

135-7010A/7012A/7014A/7015A/7016A/7018A型
135-7020A/7022A/7024A/7025A/7026A/7028A型
135-7100A/7102A/7104A/7105A/7106A/7108A型
135-7110A/7112A/7114A/7115A/7116A/7118A型

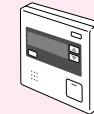
<BL認定品> 型式名



(135-7010型)



(浴室リモコン)



(台所リモコン)

YG2458R
YG2458RT
YG2458RN
YG2458RM
YG2458RH
YG2458FTH

YG2457R
YG2457RT
YG2457RN
YG2457RM
YG2457RH
YG2457FTH

YG1658R
YG1658RT
YG1658RN
YG1658RM
YG1658RH
YG1658FTH

YG1657R
YG1657RT
YG1657RN
YG1657RM
YG1657RH
YG1657FTH

大阪ガス株式会社

お問い合わせ先

別添 大阪ガスのお問い合わせ先
をご参照願います。

おねがい ガスくさいときは、ガス栓を閉め窓を全開にして(火気に注意して)、大阪ガスにご連絡ください。

◆この取扱説明書は再生紙を使用しています◆

取扱説明書

大阪ガス

- このたびは大阪ガスの給湯暖房用熱源機をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
- ・この説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。なお、ご不明な点があればお買い上げの販売店にお問い合わせください。
 - ・別添の保証書の内容もよくお読みいただき、必ずお買い上げ日・販売店名等の記入を確かめてください。
 - ・この説明書はいつでもご覧になれるところに保管してください。

SHA8413

TK47



36274700




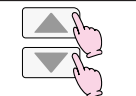
SHA8413 T

こんなことができます

もくじ

- リモコンの特徴 1
- 必ずお守りください(安全上の注意) 3
- 各部のなまえとはたらき(機器本体) 9
- 各部のなまえとはたらき(リモコン) 11
- 浴室リモコン(138-3091,3092型) 11
- 台所リモコン(138-3091型) 13
- 台所リモコン(138-3092型) 15
- 初めてお使いになるときは 17
- 使いかた**
- 浴室から台所リモコンのチャイムを鳴らす 17
- 時計を合わせる 18
- お湯を出す/お湯の温度を調節する 19
- ふる温度を調節する 21
- ふる湯量を調節する 22
- お風呂を自動で沸かす
(デラックスタイプのふるアダプター使用時) 23
- お風呂の追いだし(高温さし湯)をする
(デラックスタイプのふるアダプター使用時) 25
- 残り湯を沸かし直す(高温さし湯) 27
(デラックスタイプのふるアダプター使用時)
- お風呂のお湯を増やす(たし湯(たつぶり)) 29
- お風呂のお湯をぬるくする(さし水(ぬるく)) 30
- お風呂の沸き上がり時刻を予約する 31
- 暖房する-1 33
- 暖房する-2 (放熱器で熱源機の運転ができない場合) 34
- 浴室暖房する 39
- 床暖房する 41
(138-3092型 台所リモコン使用時)
- 床暖房の温度を調節する 42
(138-3092型 台所リモコン使用時)
- 床暖房する時間帯を予約する 43
(138-3092型 台所リモコン使用時)
- 静音設定する 45
- 各設定を変更する/連絡先を表示させる 47
(お風呂の保温時間、リモコンの音量、音声ガイド、表示の節電、機器の水抜き)
- お風呂を自動で沸かす 49
(スタンダードタイプのふるアダプター使用時)
- お風呂の追いだし(高温さし湯)をする 51
(スタンダードタイプのふるアダプター使用時)
- 凍結による破損を予防する 53
- 日常の点検・お手入れのしかた 57
- 故障・異常かな?と思ったら 59
- アフターサービスについて 65
- 主な仕様 66



お湯を出す


お湯の温度をお好みの温度に設定して使用できます。(目安の温度:℃)

32	35	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	60
食器洗いなど			シャワー、給湯など					給湯など			高温を表示			

お風呂を自動で沸かす
(デラックスタイプのふるアダプター使用時)


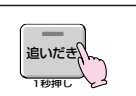
設定した温度・湯量で自動的にお湯はり




お湯がさめたら 自動で追いだし保温

自動保温は、沸き上がりから4時間以内 ※保温時間は変更できません

お風呂の追いだしをする
残り湯を沸かし直す (高温さし湯)
(デラックスタイプのふるアダプター使用時)


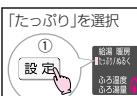



お風呂のお湯の温度を上げることができます。




保温を選択すると追いだし完了後、4時間自動追いだし保温をします。 ※保温時間は変更できます。

お風呂のお湯を増やす
たし湯


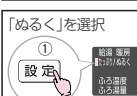



「たつぶり」を選択




お風呂のお湯の量を増やすことができます。

お風呂のお湯をぬるくする
さし水


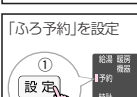



「ぬるく」を選択




お風呂のお湯の温度を下げることができます。

お風呂の沸き上がり時刻を予約する

「ふる予約」を設定




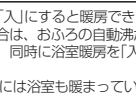
設定した温度・湯量で自動的にお湯はり

お湯がさめたら 自動で追いだし保温

自動保温は、沸き上がりから4時間以内 ※保温時間は変更できません


※保温機能はデラックスタイプのみで、スタンダードタイプには保温機能はありません。

暖房する
浴室を暖房する






●放熱器の運転スイッチを「入」にすると暖房できます。
●浴室暖房がついている場合は、お風呂の自動沸かし時にふる自動スイッチを押すと、同時に浴室暖房を「入」にすることができます。
お風呂が沸き上がった頃には浴室も暖まっています。



※浴室暖房がついている場合




床暖房する
(138-3092型台所リモコン使用時)

お風呂を自動で沸かす
(スタンダードタイプのふるアダプター使用時)






設定した温度・湯量で自動的にお湯はり




ストップ

お風呂の追いだしをする
追いだし (高温さし湯)
(スタンダードタイプのふるアダプター使用時)

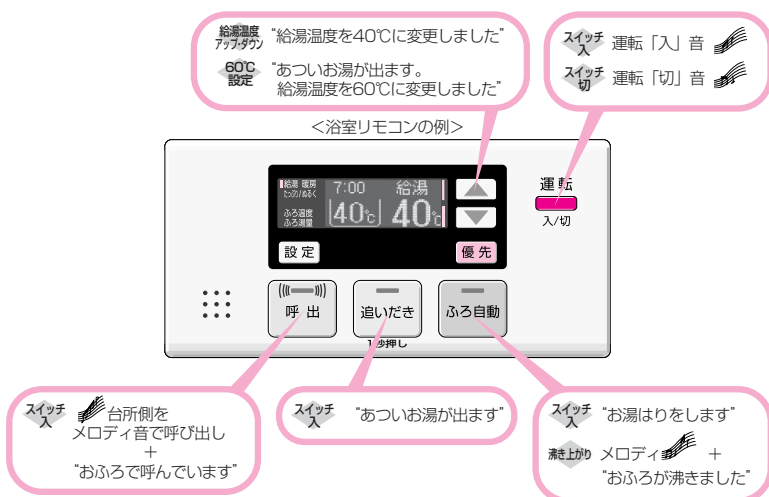
お風呂のお湯の温度を上げることができます。
(お好みの温度で自動的に停止しません。)



リモコンの特徴

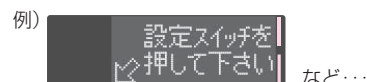
リモコンが音声でお知らせします <音声ガイド>

操作の内容を女性の声やメロディでお知らせします。
片方のリモコンで温度設定を変更したことを、もう一方のリモコンでも音声でお知らせします。
お年寄りやお子様にも、耳で聞いて確認できるわかりやすい設計です。
(音声ガイドをやめたり、音量を変更したりすることもできます。 (P47,48))

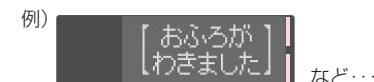


リモコン操作を文字でお知らせします <文字ガイド>

操作の内容を文字でお知らせします。

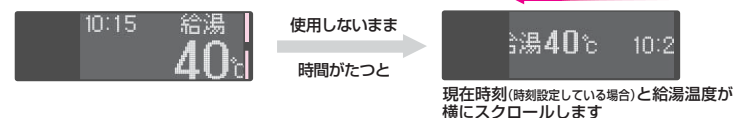


また、運転の状態を文字でお知らせします。



リモコン画面の焼き付き防止 <スクロール表示>

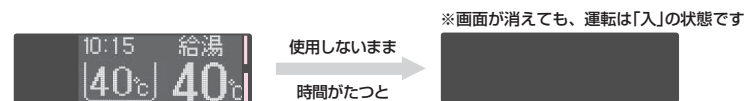
画面の焼き付き防止のため、機器を使用しないまま約10分(おふろの機能を使った場合、浴室リモコンでは約1時間)たつと画面の状態が変わります(スクロール表示)。



*再使用したり、スイッチを押すと、スクロール表示を解除します。

リモコンの無駄な電力消費を防ぐ <表示の節電>

リモコンの無駄な電力消費を防ぐため、また画面の焼き付き防止のために<表示の節電>の設定ができます (P47,48)。機器を使用しないまま約10分(おふろの機能を使った場合、浴室リモコンでは約1時間)たつと、画面表示が消えて、運転ランプのみ点灯します。



*再使用したり、スイッチを押すと、表示の節電を解除します。
(操作するスイッチによって解除状態が異なります。)

*給湯温度を60℃に設定している場合は、安全のため、画面表示は消えません。

必ずお守りください(安全上の注意)-1

お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

■危害・損害の程度による内容の区分

危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険または、火災が切迫して生じることが想定される内容です。
警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性または、火災が想定される内容です。
注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される内容です。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

■注意・禁止内容の絵表示

高温注意	感電注意	必ずおこなう	アース必要
禁止	火気禁止	接触禁止	めね手禁止

危険

- ガス漏れに気づいたときは、**
1. すぐに使用をやめる
 2. ガス栓を閉める
 3. 【屋内設置形の場合】窓や戸を開ける
 4. 販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する



- ガス漏れ時は、絶対に**
- ・火をつけない
 - ・電気器具のスイッチの入・切をしない
 - ・電源プラグの抜き差しをしない
 - ・周辺の電話も使用しない

火や火花で引火し、火災の原因になります。

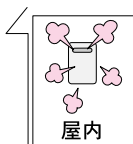


- 給排気筒が外れたり、穴があいたり、つまった状態で使用しない【屋内設置形の場合】**



排気ガスが室内に漏れて、一酸化炭素中毒の原因になります。

- 屋内に設置しない【屋外設置形の場合】**



一酸化炭素中毒の原因になります。

警告

- 異常燃焼・異常臭気を感じたときや、地震・火災などの緊急時は、次の手順に従う**

1. 給湯栓を閉める
2. 運転スイッチを「切」にする
3. ガス栓・給水元栓を閉める
4. 販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する

火災・感電・故障などの予防のため。

- シャワー使用時は、手で湯温を確認してから使用する**



- 入浴時も、浴そうの湯温を手で確認してから入浴する**



やけど予防のため。

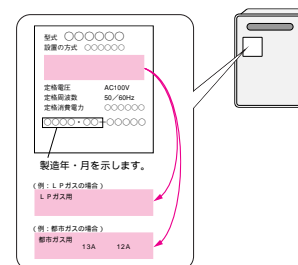
- シャワー使用時は、使用者以外温度を変えない、運転「切」にしない**

高温に変更されたときのやけど予防のため。また、低温に変更されたり運転「切」にされると、冷水になって使用者がびっくりする原因になります。

- 【床暖房が設置されている場合】床暖房の上で長時間座ったり、寝そべったりしない**

低温やけどを起こすおそれがあります。特に、乳幼児・お年寄り・病人など、自分の意志で体を動かせない方、疲労の激しいとき、皮膚の弱い方、皮膚感覚の弱い方、お酒や睡眠薬を飲まれた方などには、まわりの人が注意してください。

- 必ず銘板に表示のガス・電源で使用する**



表示以外のガス・電源で使用すると、異常燃焼し、火災や感電の原因になります。わからない場合は、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

- 子供を浴室内で遊ばせない
子供だけで入浴させない**

思わぬ事故の原因になります。

- 機器の設置・移動および付帯工事は、販売店に依頼する**

安全に使用していただくため。

- 修理技術者以外は修理・分解・改造をしない**

火災や故障の原因になります。

- 屋外に設置しない【屋内設置形の場合】**


雨水が浸入したり、炎が風にあおられたりして、故障や火災の原因になります。



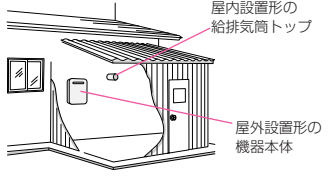
必ずお守りください(安全上の注意)-2

(つづき)

お風呂を沸かすとき
 (電源スイッチを押すとき、または保温中)
 風呂アダプターより高温水が出るため、入浴中は風呂アダプター付近に身体を近づけない。
 やけど予防のため。



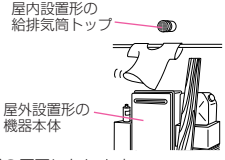
増改築などで屋内状態にしない(波板囲いなどをしない)



屋内設置形の給排気筒トップ
 屋外設置形の機器本体

一酸化炭素中毒・火災の原因になります。

燃えやすい物をまわりに置かない(洗濯物、新聞紙、灯油など)



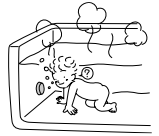
屋内設置形の給排気筒トップ
 屋外設置形の機器本体

火災の原因になります。

灯油、ガソリン、ベンジンなど、引火のおそれのある物を機器のまわりで使用しない

火災の原因になります。

浴そうの風呂アダプター付近にもぐったりしない



スプレー缶を、機器本体や排気口・給排気筒トップのまわりに置かない、使用しない

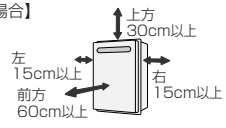
熱でスプレー缶の圧力が上がり、爆発・火災の原因になります。

床暖房の上に、可燃性ガスの含まれる物(スプレー缶やライターなど)を置かない

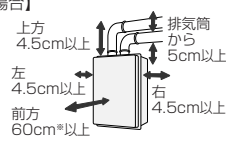
ガスが漏れて周囲にたまり、爆発や火災の原因になります。

燃えやすい物とは離す(樹木、木材、箱など)

【屋外設置形の場合】



【屋内設置形の場合】



※印はアフターサービス上の寸法です。

火災予防のため。

⚠️注意

必ずアースする
 機器が故障した場合、感電の原因になります。

電源プラグはぬれた手でさわらない



感電の原因になります。

電源コード、電源プラグに無理な力を加えたり、加工をしない

束ねたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、物を乗せたり、衝撃を与えたりして無理な力を加えない。傷つけない。加工をしない。

感電、ショート、火災の原因になります。

使用中や使用後しばらくは、排気口・給排気筒トップ・排気筒付近に触れない



やけど予防のため。

給湯、シャワー、お風呂を沸かす、暖房、乾燥以外の用途には使用しない

思わぬ事故を予防するため。

床暖房に鋭利な物(画びょう・ダニ防虫剤の注射針・くぎ・はさみなど)を刺さない

水漏れの原因になります。

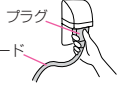
木質フローリングを床仕上げ材として使用する場合は、カーペットなどの敷物を敷かない

床暖房の性能が十分に発揮できません。また、床暖房の熱がこもって、床仕上げ材の変色や変形の原因になります。

床暖房の上に水分をこぼさない

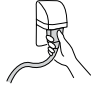
水、薬品、しょうゆなどをこぼしたままにしておくと、床仕上げ材や床暖房部が腐食する原因になります。こぼした場合はすぐに拭き取ってください。

電源プラグは、コードを持たずにプラグを持って抜く



コードを持って抜くと、コードが破損し、発熱、火災、感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不十分だと、感電や火災の原因になります。

電源プラグのほこりはときどき取る

ほこりがたまると、火災の原因になります。

太陽熱温水器とは絶対に接続しない

お湯の温度制御ができなくなり、やけどや機器の故障の原因になります。

乾電池に関する注意(お願い)

機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。もしお客様で旧機器の処理をされる場合、乾電池を使用している機器は、乾電池を取り外してから正規の処理をしてください。

床暖房部の上に接触面積の大きい物を直接置かない

家具などを置くと、熱がこもり、ひずみ等が発生する原因になります。置く場合は、脚付きの物をご使用ください。

重い物を置く場合は、パッドなどを敷いて、一カ所に荷重がかからないようにする

床暖房の破損を予防するため。

ホットカーペットと併用しない

床仕上げ材の変色や変形の原因になります。

必ずお守りください(安全上の注意)-3

お願い

機器や配管に長時間たまった水や、朝一番のお湯は飲まない、調理に使用しない

雑用水として使用してください。

浴そうのふろアダプターをタオルなどでふさがらない穴に物を詰めない



おふろ沸かしができません。
機器の故障の原因になります。

業務用のような使いかたをしない

製品の寿命を短くします。
業務用のような使いかたをした場合の修理は、保証期間内でも有料になります。

水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しない

給湯栓の先端に泡沫水栓が内蔵されているものは、ときどきフィルター(金網)を掃除する

わからない場合は、販売店または、もよりの大阪ガスに確認してください。

機器のまわりはきれいにしておく

まわりが雑草、木くず、箱などで雑然していると、機器の内部にゴミブリが侵入したりクモの巣がはったりして、機器の損傷や火災の原因になることがあります。

停電後(または電源プラグを抜いたあと)は、設定した現在時刻を確認する

停電すると運転が停止し、また設定した現在時刻がリセットする場合があります。

水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない井戸水または温泉水で使わない

水質によっては、機器を腐食させる原因になります。

停電時、ふろアダプターから水が出ていないか確認する。

追いだき中に停電すると、ふろアダプターから水が流れっぱなしになりますので、給水元栓を閉じてください。

リモコンを分解しない

故障や、思わぬ事故の原因になります。

リモコンの掃除には、ベンジンや油脂系の洗剤を使用しない

変形する場合があります。

浴室リモコン・防水型増設リモコンに故意に水をかけない

防水型ですが、多量の水は故障の原因になります。

台所リモコン・増設リモコンに、水しぶきをかけない、蒸気をあてない

炊飯器、電気ポットなどに注意。
故障の原因になります。

この機器の純正部品以外は使用しない

思わぬ事故の原因になります。

運転スイッチ「切」時にはお湯側から水を出さない

お湯を出すときには、運転スイッチ「入」を確認してください。

運転スイッチ「切」時にお湯側から水を出すと熱交換器内に結露現象が発生し、不完全燃焼の原因になったり、電気部品の損傷の原因になります。

シングルレバー混合水栓の場合は、レバーを完全に水側にセットしてから水を出してください。

浴そう、洗面台はこまめに掃除する

湯アカが残っていると、水中に含まれるわずかな銅イオンと、せっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して、青く変色することがあります。

(つづき)

排気ガスが直接建物の外壁や窓、アルミサッシ(網入りガラスなど)に当たらないように設置する(増改築時注意)

ガラスが割れたり変色する原因になります。

機器に法定のラベルが貼付されていることを確認する【屋内設置形の場合】

「特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律」の対象であり、法定資格を有する者以外、設置・移設できません。

使用時の点火、使用後の消火を確認する

ガス事故防止のため。

冬期は、凍結予防処置をする(☞P53~56)

凍結すると、水漏れや故障の原因になります。

長期間使用しない場合、必要な処置をする(☞P55,56)

凍結および万が一のガス漏れを防止するため。

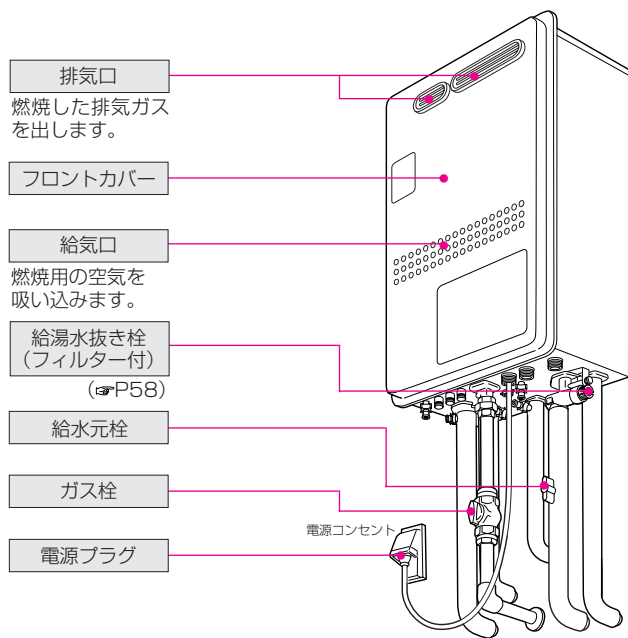
積雪時には給気口、排気口・給排気筒トップの点検、除雪をする

雪により給気口、排気口・給排気筒トップがふさがれると不完全燃焼し、機器の故障の原因になることがあります。

各部のなまえとはたらき(機器本体)

【屋外設置壁掛形】

135-7010型, 135-7020型, 135-7100型, 135-7110型



(例:135-7010型)

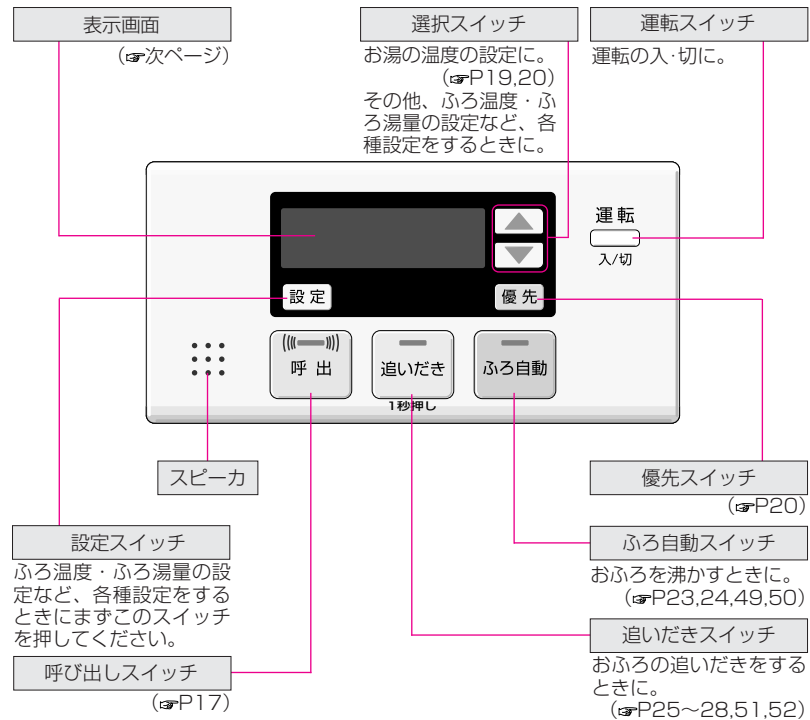
	PS扉内設置形	PSアルコーブ設置形	PS扉内設置後方排気延長形	PS扉内設置上方排気延長形
屋外設置形	135-7012型 135-7022型 135-7102型 135-7112型	135-7014型 135-7024型 135-7104型 135-7114型	135-7015型 135-7025型 135-7105型 135-7115型	135-7016型 135-7026型 135-7106型 135-7116型
屋内設置形	屋内設置強制給排気形 (二本管)			
	135-7018型 135-7028型 135-7108型 135-7118型			

※上のイラストは施工例です。
配管の形状、給水元栓・ガス栓・電源コンセントの位置など実際と異なります。

各部のなまえとはたらき(リモコン-1)

浴室リモコン(138-3091,3092型) <別売品>

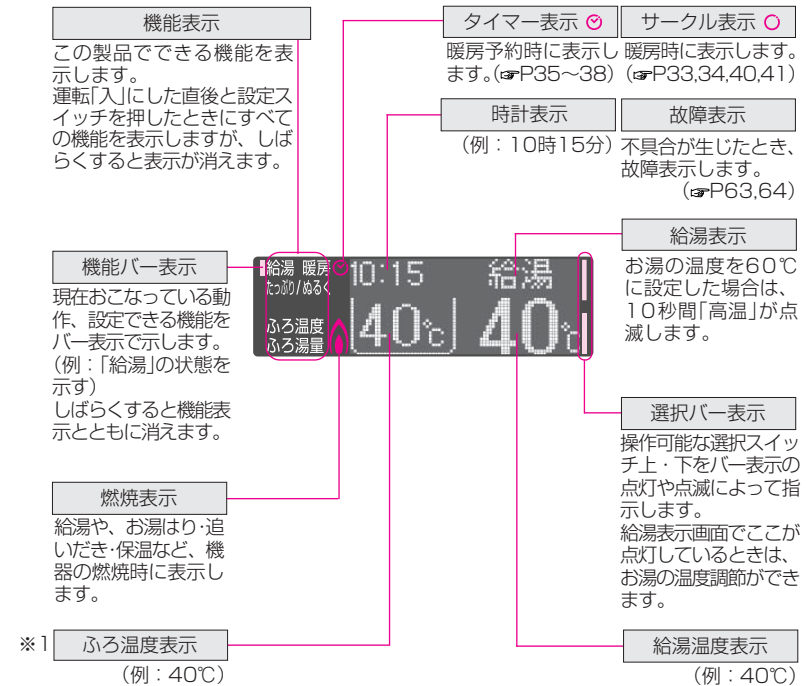
(浴室に取り付けます)



その他の別売品リモコンをお使いの場合は、それぞれの取扱説明書をごらんください。

表示画面

下記の表示画面は説明のため、基本的なもののみ表示したものです。実際の運転のときは、運転の状態によって異なる表示をします。

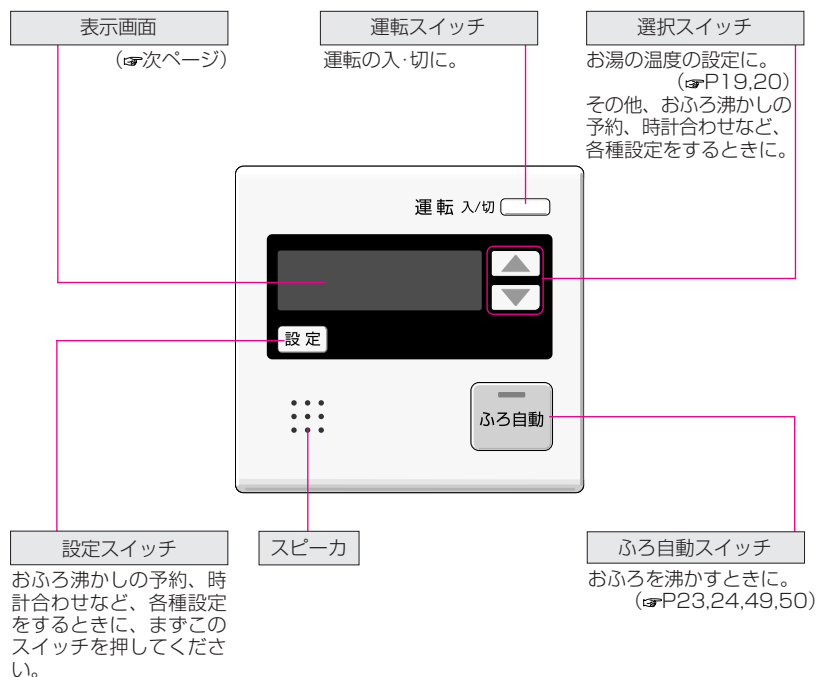


※1: お湯はり温度、または追いだき(デラックスタイプのふるアダプター使用時)時の設定温度です。(浴そう内の温度表示ではありません。)

各部のなまえとはたらき(リモコン-2)

台所リモコン(138-3091型) <別売品>

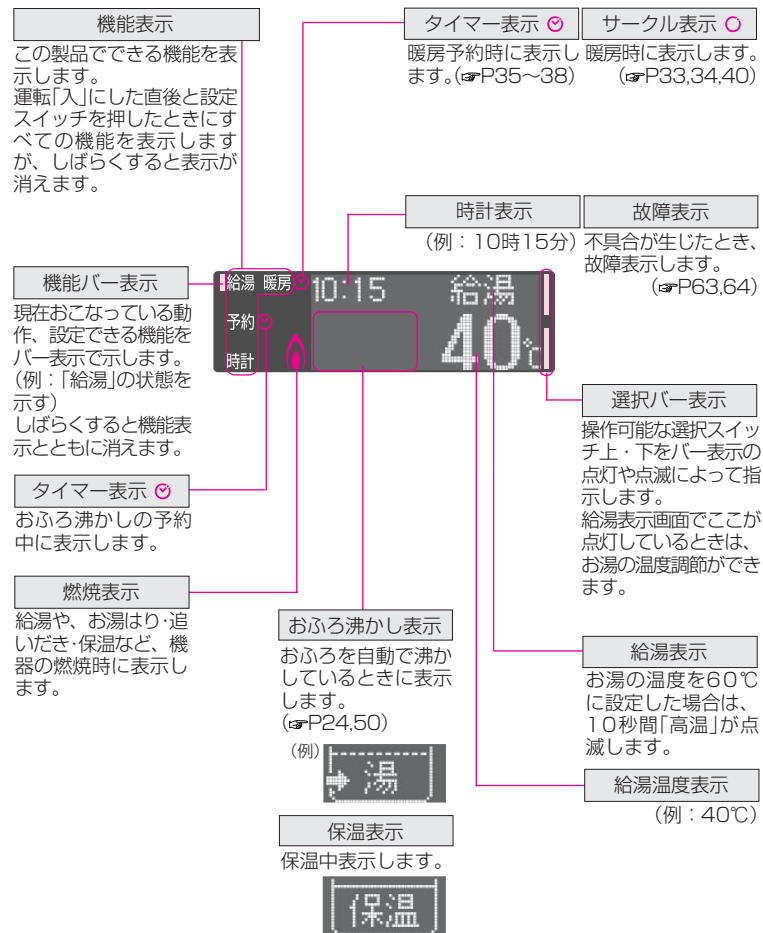
(台所などに取り付けます)



その他の別売品リモコンをお使いの場合は、それぞれの取扱説明書をごらんください。

表示画面

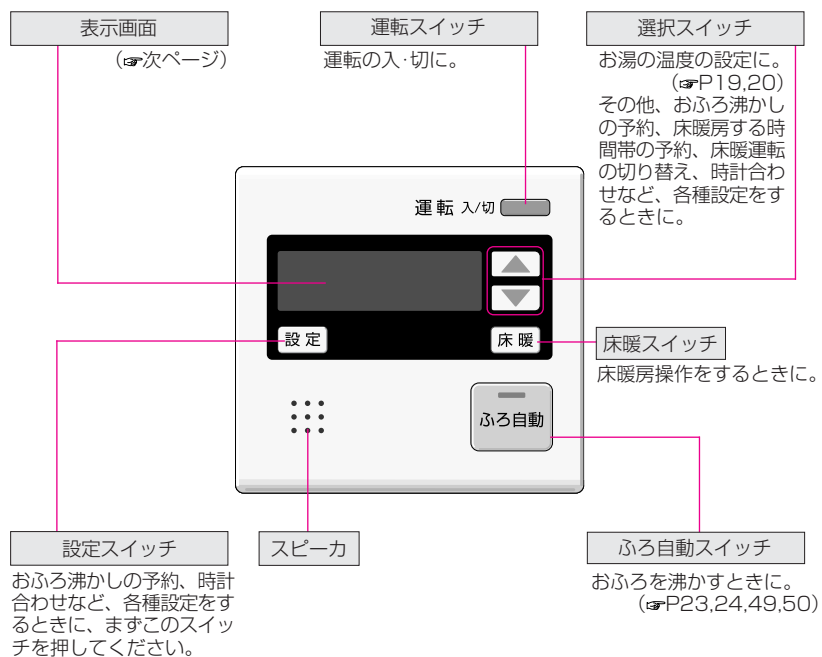
下記の表示画面は説明のため、基本的なもののみ表示したものです。実際の運転のときは、運転の状態によって異なる表示をします。



各部のなまえとはたらき(リモコン-3)

台所リモコン(138-3092型) <別売品>

(台所などに取り付けます)

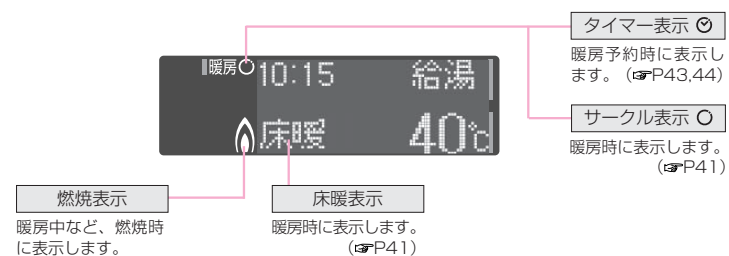


その他の別売リモコンをお使いの場合は、それぞれの取扱説明書をごらんください。

表示画面

下記の表示画面は説明のため、基本的なもののみ表示したものです。実際の運転のときは、運転の状態によって異なる表示をします。

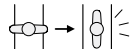


※床暖房操作以外の表示については、14ページをご覧ください。

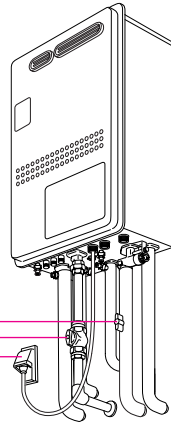


初めてお使いになるときは

初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

1~4の手順でおこなってください。

- 1 給水元栓を全開にする。

- 2 給湯栓を開け、水の出ることを確認し、再度閉める。

給湯栓
- 3 ガス栓を全開にする。

- 4 電源プラグを差し込む。
ぬれた手でさわらない



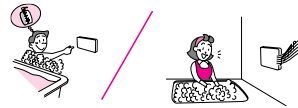
(例：135-7010型)

使いかた 浴室から台所リモコンのチャイムを鳴らす

(浴室リモコン)

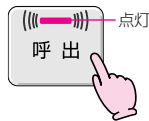


浴室にいるときに、何か必要な物があったり気分が悪くなったり人を呼びたいとき、呼び出しスイッチで知らせることができます。
(インターホンではないので会話はできません)



呼び出しスイッチを押す

●呼び出しスイッチは運転スイッチの「入・切」に関係なく使用できます。

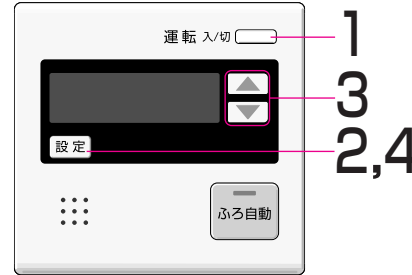


【呼び出し中】

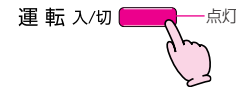
メロディで呼び出します。押し続けると、手を離すまでメロディをくりかえします。

使いかた 時計を合わせる

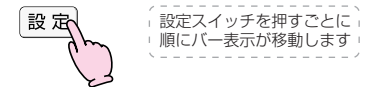
(台所リモコン)



1 運転スイッチを「入」にする



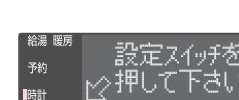
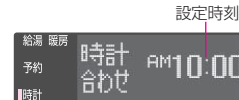
2 設定スイッチを押してバー表示を「時計」の位置にする



3 選択スイッチで 現在時刻を設定する



一度押すごとに1分ずつ、押し続けると10分ずつ変わります。



4 設定スイッチを押して給湯表示画面に戻す



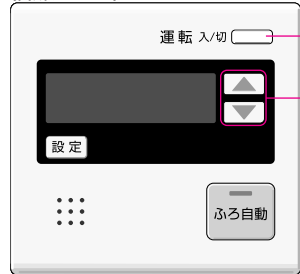
時計合わせをしていない場合、浴室リモコンでは時計表示のかわりに「ふる」を表示します。

使いかた お湯を出す/お湯の温度を調節する

(浴室リモコン)



(台所リモコン)



ここでは浴室リモコンでご説明します

<運転スイッチ「切」のとき>

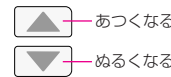
1 運転スイッチを「入」にする



前回到設定した給湯温度
(例: 40℃)

<一度設定すると記憶します>

2 選択スイッチで給湯温度を調節する
(変更しないときは温度を確認する)



変更した給湯温度

3 給湯栓を開ける



燃焼中 点灯

4 使用後は給湯栓を閉める



消灯

お湯の温度の目安

(℃: 目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、実際の温度とは異なります。)

32	35	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	60
食器洗いなど	シャワー、給湯など				給湯など				高温					

※初期設定(工場出荷時)=40℃

<故障ではありません>

*低温(食器洗いなど)に設定したときは、水温が高い場合、お湯の温度が設定温度よりも高くなる場合があります。
*給湯栓を開けた直後は、湯温を安定させるため、一定時間湯量が少なくなる場合があります。(P60)

警告



やけど予防のために。

高温注意

- シャワーを使用するときは、いきなり体や顔にかけず、リモコンの給湯温度表示を確認し、手で湯の温度を確認してから使用してください。
- 60℃に設定したときは、
・音で「あついお湯が出ます。給湯温度を60℃に変更しました」
・約10秒間高温表示が点滅後、点灯でお知らせします。
- 表示の温度をよく確かめてから使用してください。
60℃の高温で使ったあと、あらためて使用するときは特に注意してください。
- シャワーなどお湯を使用中のとき、他の人はお湯の温度を変更しないでください。
- シャワーなどお湯を使用中のとき、他の人は「優先」を切り替えないでください。切り替えたほうの前回設定した温度に変わります。
- 少量の湯を出していたり開閉を繰り返すと、設定温度より高温になることがありますので注意してください。



約10秒間 点滅→点灯



<浴室リモコン表示画面>



温度調節ができない場合は、以下の操作をしてください<優先切替>(設定温度は例です)

	湯温調節できない状態	優先切替する	湯温調節できる状態
浴室リモコン	押すと(音声)「優先スイッチを押しください」 点灯していない	「入」(点灯)にする 	 点灯
台所リモコン	押すと(音声)「浴室優先です」 点灯していない	「切」(消灯)にして 再度「入」(点灯)にする 	 点灯

※ふる運転中にこの操作をするとふる運転が停止します。

使いかた ふる温度を調節する



※運転スイッチ「切」のときは必ず「入」にしてください。

<一度設定すると記憶します>

- 設定スイッチを押してバー表示を「ふる温度」の位置にする

設定スイッチを押すことに順にバー表示が移動します

バー表示=「ふる温度」

ふる温度 (例: 40℃) しばらく点滅
- 選択スイッチでふる温度を調節する

あつくなる
ぬるくなる

ふる温度
- 設定スイッチを押して給湯表示画面に戻す

ふる温度

最後に設定スイッチを押し忘れた場合でも、2の段階で変更した温度で確定されます。

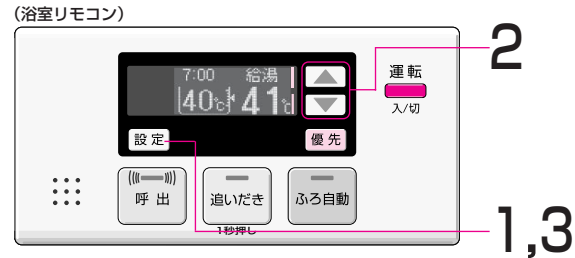
ふる温度の目安

(℃: 目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、実際の温度とは異なります。)

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
ぬるめ			ふつう					あつめ			

※初期設定(工場出荷時)=40℃

使いかた ふる湯量を調節する



※運転スイッチ「切」のときは必ず「入」にしてください。

<一度設定すると記憶します>

- 設定スイッチを押してバー表示を「ふる湯量」の位置にする

設定スイッチを押すことに順にバー表示が移動します

バー表示=「ふる湯量」

お湯はり湯量 (例: 180ℓ) しばらく点滅
- 選択スイッチでお湯はり湯量を調節する

ふえる
へる

お湯はり湯量
- 設定スイッチを押して給湯表示画面に戻す

ふる温度

最後に設定スイッチを押し忘れた場合でも、2の段階で変更したお湯はり湯量で確定されます。

ふる湯量の目安

※=初期設定値(工場出荷時)=180ℓ

浴そう	1人用	1.5人用	2人用
湯量のめやす	約160ℓ	約200ℓ	約240ℓ

- 湯はり湯量は40ℓ～260ℓ(20ℓ刻み)と300ℓ、350ℓ、400ℓ設定ができます。
- 表示されている湯量は目安として使用してください。

使いかた

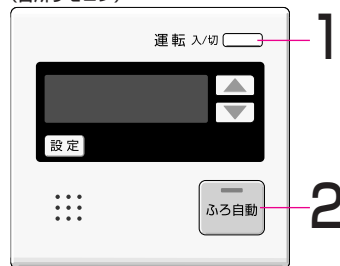
お風呂を自動で沸かす

デラックスタイプの
ふるアダプター使用時

(浴室リモコン)



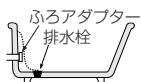
(台所リモコン)



<運転スイッチ「切」のとき>

運転前の準備

1. 浴そうの排水栓を閉める。
2. 浴そうのふたをする。



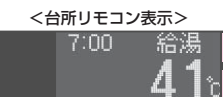
1 運転スイッチを「入」にする

<浴室リモコン>



ふる温度 確認

<台所リモコン>



ふる温度 確認

ふる温度・湯量の変更のしかた

21~22ページ参照

※浴そうのふるアダプターには種類があります。
(デラックスタイプのふるアダプターには下図以外の
場合があります。)

デラックスタイプの
ふるアダプター



スタンダードタイプの
ふるアダプター



(この場合は、P49~52)



警告



高温注意

やけど予防のために。

- お湯はりに中に、台所やシャワーなどでお湯を使用すると、ふる設定温度のお湯が出ます。お湯はりが終わると給湯設定温度のお湯が出ますので、給湯を高温に設定しているときは注意してください。

2 ふる自動スイッチを「入」にする



1) お湯はりを開始します。

ふる温度・ふる湯量が交互に点滅



10秒後

<浴室リモコン表示>



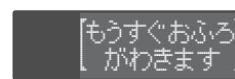
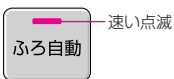
お湯はり中 表示

<台所リモコン表示>



お湯はり中 表示

2) 入浴できる状態に近づくと、ランプが速い点滅に変わります。



※お湯はりに追いだき運転をすることがあり、“あついお湯が出ます”と音声でお知らせします。

※表示の節電中(P2,47,48)の場合でも、ふる自動スイッチを押すと運転を開始します。

- 途中でふる沸かしをやめたいとき
- 沸き上がり後、自動追いだき保温の必要がないとき

ふる自動スイッチを「切」にする。(ランプ消灯)



沸き上がり



<浴室リモコン表示>



自動追いだき中

<台所リモコン表示>



保温中 表示

- 約4時間、自動追いだき保温します。
(自動追いだき開始時“あついお湯が出ます”と音声でお知らせします。)

- ※保温時間は変更できません。
(P47,48)
(保温時間を長時間に設定すると、浴そうからお湯があふれることがあります。)



警告

- 保温中は浴そうの排水栓を絶対に抜かない。ふるアダプターより高温水が出るため、やけどのおそれがあります。

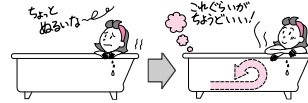
使いかた

おふろの追いだき(高温差し湯)をする

(浴室リモコン)



デラックスタイプの
ふるアダプター使用時



1

※運転スイッチ「切」のときは必ず「入」にしてください。

運転前の準備

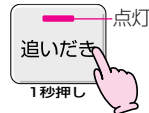
浴そうのふるアダプター上部より5cm以上お湯(または水)が入っているが確認する。



警告

- 追いだき運転または保温運転中は、浴そうの排水栓を絶対に抜かない。ふるアダプターより高温水が出るため、やけどのおそれがあります。

1 追いだきスイッチを1秒以上押す



“あついお湯がでます”と音声でお知らせします。

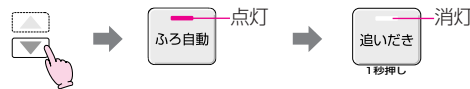
右のスイッチで保温できます▶

※保温中(ふる自動スイッチのランプが点灯中)は左記の表示はしません。

- そのまま放置するとしばらくして追いだき運転を開始します。(表示は約10秒後消えます。)

浴そうの湯温より+約2℃(湯温の上限は設定温度+約2℃)まで追いだきします。浴そうの湯温がふる設定温度より約2℃以上低いときは、設定温度まで追いだきします。

- 保温のみをしたいときは、10秒以内に選択スイッチ(下)を押してください。



浴そうの湯温がふる設定温度より約2℃以上低くなると、設定温度まで追いだきします。(約4時間の自動追いだき保温をします。)

※表示の節電中(▶P2.47.48)の場合でも、追いだきスイッチを1秒以上押すと、運転を開始します。

警告

ふるアダプターから熱いお湯が出ます。



<やけど予防のため>

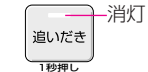
- ふるアダプター付近は熱いのでさわらないでください。
- 追いだき停止後も、ふるアダプターから少しの間熱いお湯が出ます。
- 追いだきを入浴せずにおこなうときは、湯かげんを手で確認しよくかきまぜてから入浴してください。
- 浴そうにお湯(または水)が入っていない場合、追いだきはしないでください。



<注意>

浴そうのお湯の量が多いときは、高温のお湯を入れて追いだきするため、浴そうからお湯があふれることがあります。

追いだき(高温差し湯)完了

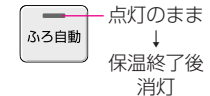


追いだきが完了すると自動的に止まります。



消灯

保温を選択した場合



※24ページ「沸き上がり」の項の<浴室リモコン表示>以下を参照してください。



高温の注意をお知らせします。



燃焼中表示

※追いだき中に台所などでお湯を使うと、追いだきを中断し、矢印表示の動きが止まり、「高温」の表示がふる設定温度に変わります。お湯の使用が終わると、“あついお湯が出ます”と音声でお知らせし、追いだきを再開します。

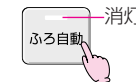
追いだきを途中でやめたいとき

もう一度、追いだきスイッチを押す。(ランプ消灯)



※ランプ消灯後しばらくして、燃焼表示(🔥)が消えます。

※保温をやめたい場合は、ふる自動スイッチを押してください。



- 追いだき運転中に給湯・シャワーを使用すると、追いだき運転は一時停止し、給湯設定温度のお湯が出ます。給湯・シャワーを使用したあと、“あついお湯が出ます”と音声でお知らせし、追いだき運転を再開します。
- 追いだきは、おふろの自動お湯はり中は使用できません。

使いかた

残り湯を沸かし直す(高温差し湯)

(浴室リモコン)



デラックスタイプの ふろアダプター使用時

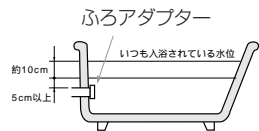
前日などの残り湯を沸かし直したいときに、スイッチを押すと高温(約90℃)のお湯を入れて沸かし直します。



※運転スイッチ「切」のときは必ず「入」にしてください。

運転前の準備

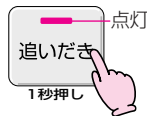
●沸かし上げると湯量が増えますので、いつも入浴されている水位より、約10cm位低めにします。ただし、ふろアダプター上部より5cm以上の水位とする。



警告

●沸かし上げ運転または保温運転中は、浴そうの排水栓を絶対に抜かない。ふろアダプターより高温水が出るため、やけどのおそれがあります。

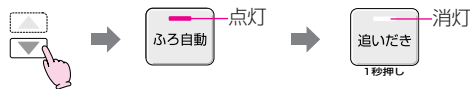
1 追いだきスイッチを1秒以上押す



“あついお湯がでます”と音声でお知らせします。

右のスイッチで保温できます▶

- 沸かし直しだけを行う場合
そのまま放置すると、しばらくして追いだき運転を開始し、設定温度まで沸き上げます。(表示は約10秒後消えます。)
- 沸かし直し完了後、保温を行う場合
10秒以内に選択スイッチ(下)を押してください。



設定温度まで沸き上げた後、約4時間の追いだき保温をします。

※表示の節電中(▶P.2,47,48)の場合でも、追いだきスイッチを1秒以上押すと、運転を開始します。

警告

ふろアダプターから熱いお湯が出ます。



<やけど予防のため>

- ふろアダプター付近は熱いのでさわらないでください。
- 沸かし直し停止後も、ふろアダプターから少しの間熱いお湯が出ます。
- 沸かし直しを入浴せずにおこなうときは、湯かげんを手で確認しよくかきまぜてから入浴してください。
- 浴そうにお湯(または水)が入っていない場合、沸かし直しはしないでください。

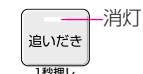


<注意>

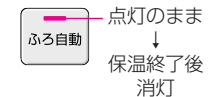
- 高温水で沸かし上げをするため、浴そうからお湯があふれることがあります。また、残り湯の量や水温、浴そうの種類によっては、お好みの湯量(水位)にならないことがあります。

残り湯の沸かし直し完了

沸かし直しが完了すると自動的に止まります。



あるいは、



消灯

※保温を選択した場合は、24ページ「沸き上がり」の項の<浴室リモコン表示>以下を参照してください。



高温の注意をお知らせします。



燃焼中 表示

※沸かし直し中に台所などでお湯を使うと、沸かし直しを中断し、矢印表示の動きが止まり、「高温」の表示がふろ設定温度に変わります。
お湯の使用が終わると、「あついお湯が出ます」と音声でお知らせし、追いだきを再開します。

残り湯の沸かし直しを途中でやめたいとき

ふろ自動スイッチあるいは、追いだきスイッチを押す。

※ランプ消灯後しばらくして、燃焼表示(🔥)が消えます。



※沸かし直し後保温をやめたいとき、ふろ自動スイッチを押してください。(ランプ消灯)

- 沸かし直し中に給湯・シャワーを使用すると、沸かし直しは一時停止し、給湯設定温度のお湯が出ます。給湯・シャワーを使用したあと、「あついお湯がでます」と音声でお知らせし、追いだき運転を再開します。
- 沸かし直しは、おふろの自動お湯はり中は使用できません。

使いかた

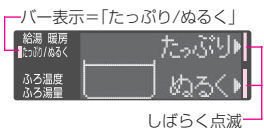
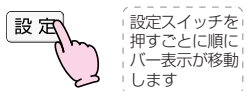
お風呂のお湯を増やす(たし湯《たっぷり》)

(浴室リモコン)

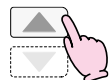


※運転スイッチ「切」のときは必ず「入」にしてください。

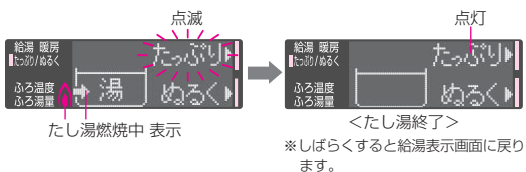
1 設定スイッチを押して
バー表示を「たっぷり/ぬるく」
の位置にする



2 選択スイッチ(上)で「たっぷり」を選ぶ



お湯を約20%たし湯し、自動的に止まります。
(お湯の温度はふる設定温度です。)



※しばらくすると給湯表示画面に戻ります。



警告



やけど予防のために。

高温注意

- たし湯中に、台所やシャワーなどでお湯を使用すると、ふる設定温度のお湯が出ます。たし湯が終わると給湯設定温度のお湯が出ますので、給湯を高温に設定しているときは注意してください。

たし湯《たっぷり》を途中でやめたいとき

もう一度、選択スイッチ(上)を押す。(1の画面に戻る)



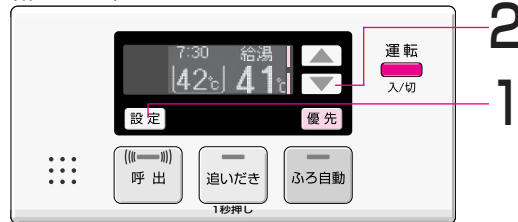
設定スイッチを押すと給湯表示画面に戻ります。

- 「たし湯」中に台所やシャワーなどでお湯を使うと、ふる設定温度のお湯が出ます。
- 「たし湯」は、お風呂の自動沸かし中は使用できません。

使いかた

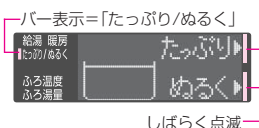
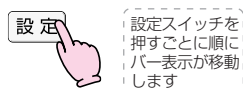
お風呂のお湯をぬるくする(さし水《ぬるく》)

(浴室リモコン)

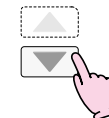


※運転スイッチ「切」のときは必ず「入」にしてください。

1 設定スイッチを押して
バー表示を「たっぷり/ぬるく」の
位置にする



2 選択スイッチ(下)で「ぬるく」を選ぶ



10%の水がはいり、約3%のお湯が
はいつてから停止します。



※しばらくすると給湯表示画面に戻ります。

- ※燃焼表示がつくことがあります。
- ※「さし水」中に設定スイッチを押すと給湯表示画面に戻ります。

さし水《ぬるく》を途中でやめたいとき

もう一度、選択スイッチ(下)を押す。(1の画面に戻る)



※約3%のお湯を入れてから停止します。

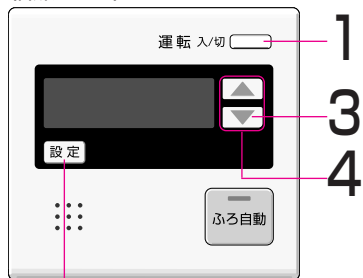
設定スイッチを押すと給湯表示画面に戻ります。

- 「さし水」は、お湯の使用前または「お風呂の自動沸かし」のお湯はり中は使用できません。
- 「さし水」中にお湯を使うと、「さし水」を中止します。その場合、お湯の使用中は、さし水待機の表示画面のままになっているため、給湯温度の確認ができません。給湯温度を高温に設定しているときは特に注意してください。(給湯温度を確認したい場合は、設定スイッチを押して、給湯表示画面に戻ってください。)

使いかた

おふろの沸き上がり時刻を予約する

(台所リモコン)



2,5

予約時刻(沸き上がり時刻)の約30分~60分前におふろ沸かしを開始するため、60分前までには予約してください。

運転前の準備

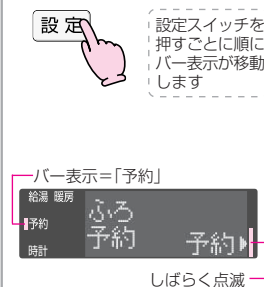
1. 浴そうの排水栓を閉める。
2. 浴そうのふたをする。
3. 沸き上がり時のふろ温度とふろ湯量を確認する。(設定スイッチで確認) (P21,22)
4. 現在時刻が正しいかどうか確認する。

<運転スイッチ「切」のとき>

1 運転スイッチを「入」にする



2 設定スイッチを押してバー表示を「予約」の位置にする

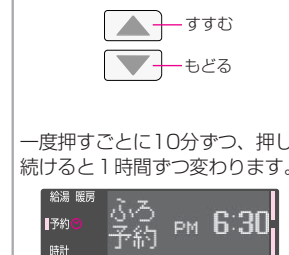


3 選択スイッチ(下)を押す



<一度設定すると記憶します>

4 選択スイッチで沸き上がり時刻を設定する(時刻変更しない場合5へ)



一度押すごとに10分ずつ、押し続けると1時間ずつ変わります。

5 設定スイッチを押して 給湯表示画面に戻す



おふろ沸かしが始まる前に

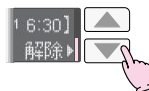
- ・予約時刻を確認した
- ・予約をやめたいとき
- ・予約時刻を変更した

いとき(下記①のみ)
(下記①~②)
いとき(下記①~③)

①設定スイッチを押し、「予約」にバー表示を移動させる。



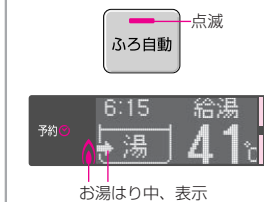
②選択スイッチ(下)で解除する。



③上記1~4の手順で、設定しなおす。

おふろ沸かし開始

予約した時刻におふろが沸き上がるように、約30~60分前に自動運転を開始します。



お湯はり中、表示

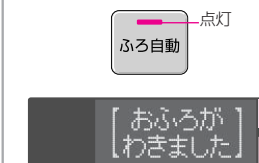
おふろ沸かしが始まったあとでおふろ沸かしをやめたいとき

ふろ自動スイッチを押す。(ランプ消灯)

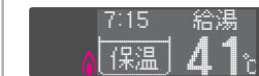


沸き上がり

メロディでお知らせします。



約4時間、自動追いだし保温を続けます。
※保温時間は変更できます。(P47,48)
※デラックスタイプ式ふろアダプター使用時のみ。(P23)
※ふろ設定湯量が80ℓ以下の場合にはランプ消灯し、自動追いだし保温を行いません。

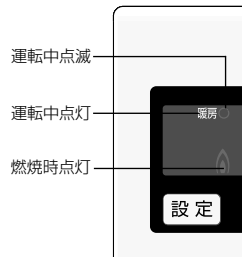


保温燃焼中 点灯

使いかた 暖房する-1

1 暖房する部屋の放熱器の 運転スイッチを「入」にする

機器が運転します。



2 放熱器の温度調節をする (温度調節機能のある放熱器のみ)

設定温度に合わせて、機器が能力を調節します。

暖房を切るときは

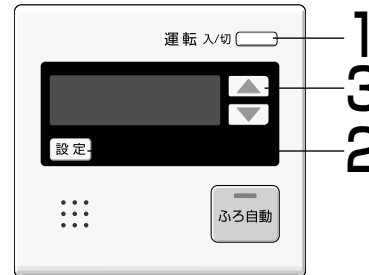
放熱器の運転スイッチを「切」にする。

- 運転スイッチの「入・切」に関係なく暖房できます。
- 放熱器の運転方法・温度調節の方法については、放熱器側の取扱説明書にしてください。
- 暖房水は自動的に補給されますので、給水元栓は開いたままにしておいてください。

使いかた 暖房する-2 (放熱器で熱源機の運転ができない場合)

(台所リモコン)

※この方法で暖房できない製品もあります

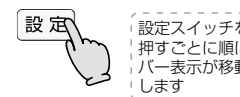


<運転スイッチ「切」のとき>

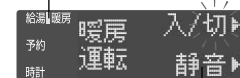
1 運転スイッチを 「入」にする



2 設定スイッチを押して バー表示を「暖房」の 位置にする

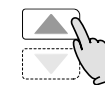


バー表示=「暖房」

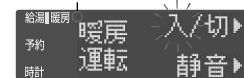


表示が異なる場合があります

3 選択スイッチ(上)で 暖房運転「入」にする



暖房中 点滅



4 放熱器の 温度調節をする

設定温度に合わせて、機器が能力を調節します。

途中で暖房をやめたいとき

2、3の手順で暖房運転「切」にする。

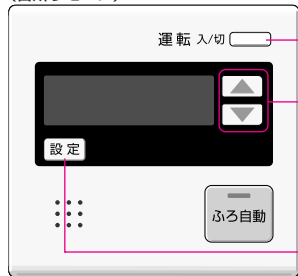
リモコンの運転スイッチを「切」にしても、暖房は切れません。

暖房水は自動的に補給されますので、給水元栓は開いたままにしておいてください。

使いかた 暖房する-2 (放熱器で熱源機の運転ができない場合)

暖房する時間帯を予約する-1

(台所リモコン)



1
3,4,5,6,7,8
2,9

お好みの時間帯に自動的に暖房するように予約できます。
一度予約設定すれば、予約解除するまで毎日設定した時間帯に自動的に暖房します。

※予約設定できない製品もあります

ここでは
朝6時～8時と
夜6時～10時に
暖房するよう予約する
場合で説明します

予約前の準備

現在時刻が正しいかどうか
確認する。
(時計を合わせるP18)

<運転スイッチ「切」の場合>

1 運転スイッチを「入」にする



2 設定スイッチを押して バー表示を「暖房」の位置にする

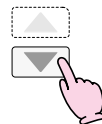


設定スイッチを押すことに順に
バー表示が移動します

放熱器の条件によって、
設定スイッチを押したあとに
出る表示が異なります。

この表示が出た場合は 次へ進んでください	
※「入/切」表示は前回設定したほうが点滅します(工場出荷時=「切」)	
バー表示 「暖房」	給湯暖房 暖房 入/切▶ 予約 運転浴室暖房▶ 時計 ▶ 3へ
バー表示 「暖房」	給湯暖房 暖房 入/切▶ 予約 運転 静音▶ 時計 ▶ 4へ
バー表示 「暖房」	給湯暖房 暖房 入/切▶ 予約 運転 予約▶ 時計 ▶ 5へ

3 選択スイッチ(下)で「浴室暖房」を選択する



この表示が出た場合は 次へ進んでください

※「入/切」表示は前回設定したほうが点滅します(工場出荷時=「切」)



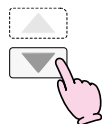
▶ 4へ



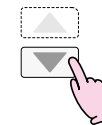
▶ 5へ

(つづく)

4 選択スイッチ(下)で「静音」を選択する



5 選択スイッチ(下)で「予約」を選択する



予約時間帯の入力画面になります。
(前回設定した予約パターンを記憶しています)

タイマー表示 点灯



※暖房予約解除後、前回の予約パターンで再度暖房予約をするときは、このまま設定スイッチを押してください。

- 予約入力画面のまましばらく操作しないと、設定スイッチを押さなくてもその状態で予約設定されます。
- ここに記載の表示以外が出る場合は、このリモコンによる暖房の予約はできません。
- 放熱器側に暖房予約機能がある場合は、放熱器側の取扱説明書をご覧ください。

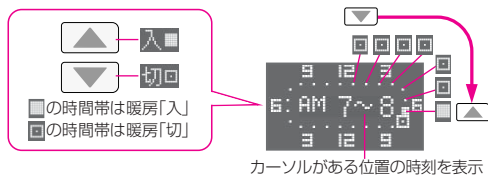
使いかた

暖房する-2 (放熱器で熱源機の運転ができない場合)

暖房する時間帯を予約する-2

(つづき)

6 選択スイッチ(下=切)を押し進めて行き AM6~7で選択スイッチ(上=入)を押す



AM 6~7 が暖房「入」の設定になります。



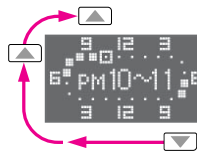
7 続けてAM7~8で 選択スイッチ(上=入)を押す

AM 7~8 も暖房「入」の設定になります。

AM 6~8 まで暖房が予約できました。



8 6と同様に、選択スイッチ(下=切)を押し進め、PM6~7, PM7~8, PM8~9, PM9~10で 選択スイッチ(上=入)を押す



さらにPM 6~7, PM 7~8, PM 8~9, PM 9~10が暖房「入」の設定になります。

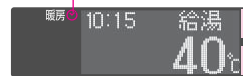
PM 6~10 まで暖房が予約できました。



9 設定スイッチを押して 給湯表示画面に戻す



タイマー表示 点灯



暖房予約を解除するとき

1. 運転スイッチ「切」の場合は「入」にする。
2. (予約と同じ2~5の手順で)予約中画面にし、選択スイッチ(下)で予約「切」にする。

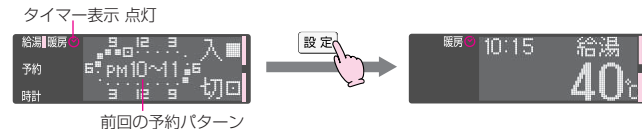


- ※予約を解除しても、設定した予約パターンは記憶しています。
- ※運転スイッチを「切」にしても暖房予約は「切」になりません。

暖房予約解除後、再度暖房予約するとき

<前回設定した予約パターンで予約する場合>

1. 運転スイッチ「切」の場合は「入」にする。
2. 2~5の手順で予約時間帯の入力画面にし、そのまま設定スイッチを押して、給湯表示画面に戻す。



<前回設定した予約パターンを変更して予約する場合>

1. 運転スイッチ「切」の場合は「入」にする。
2. 2~9の手順で予約パターンを変更して予約する。(変更した予約パターンを記憶します)

予約中に予約パターンを変更するとき

いったん暖房予約を解除してから(上記「暖房予約を解除するとき」)、再度2~9の手順で設定し直してください。

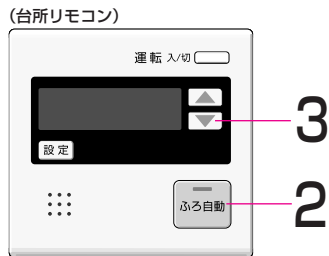
予約入力画面のまましばらく操作しないと、設定スイッチを押さなくてもその状態で予約設定されます。

使いかた 浴室暖房する (浴室暖房乾燥機がついている場合)

おふろの自動沸かし時に
同時に浴室暖房する場合

浴室暖房乾燥機がついている場合、おふろの自動沸かし時にふろ自動スイッチを押すと、同時に浴室暖房を「入」にすることができます。

ここでは台所リモコンでご説明します



P23~24,49~50「おふろを自動で沸かす」
操作2から説明します。
(浴室リモコンも同様です)

2 ふろ自動スイッチを「入」にする

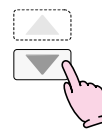


おふろの自動沸かしの画面になる前に、
浴室暖房設定画面になります。



浴室暖房乾燥機との組み合わせによっては、この方法でできない場合があります。

3 「浴室暖房」を表示している間に 選択スイッチ(下)を押して浴室暖房設定する



おふろの自動沸かしの画面に戻り(ふろ温度・ふろ湯量が
交互に10秒間点滅)、お湯はりとは浴室暖房を開始します。

P24,50 操作2の続きへ
おふろの自動沸かしを続けます
※浴室リモコンと台所リモコンの
表示は少し違います。

3の操作をしない場合、20秒後自動沸かしの画面に
戻り、浴室暖房をせずにおふろの自動沸かしを続け
ます。

4 浴室暖房乾燥機の 温度調節をする

浴室暖房乾燥機側で、能力
を調節します。

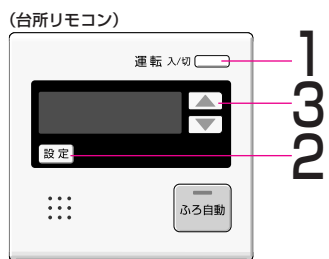
途中で浴室暖房を やめたいとき

- 1) 設定スイッチを押して
バー表示を「暖房」の位
置にし、浴室暖房設定画
面にする。
(このページの下段「浴室
暖房のみする場合」参照)
- 2) 選択スイッチ(上)で、浴
室暖房「切」にする。

●浴室暖房乾燥機の運転方法・温度調節の方法については、浴室暖房乾燥機側の取扱説明書にしてください。
●機種によっては、脱衣室暖房機も同時に運転します。
●暖房水は自動的に補給されますので、給水元栓は開いたままにしておきましょう。

浴室暖房のみする場合

ここでは台所リモコンでご説明します



<運転スイッチ「切」のとき>

1 運転スイッチを「入」にする



2 設定スイッチを押してバー表示 を「暖房」の位置にし、浴室暖房 設定画面にする



バー表示=「暖房」

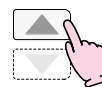


※下の表示が出た場合は、選択スイッチ(下)
で「浴室暖房」を選択し、浴室暖房設定画
面にしてください。



選択スイッチ(下)で選択

3 選択スイッチ(上)で 浴室暖房「入」にする



4 浴室暖房乾燥機の温度調節をする

浴室暖房乾燥機側で、能力を調節します。

途中で浴室暖房をやめたいとき

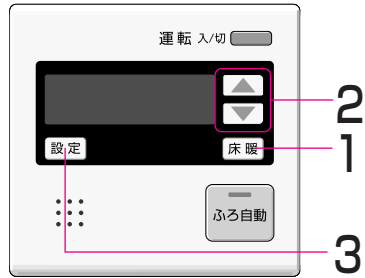
- 1) 設定スイッチを押してバー表示を「暖房」の位
置にし、浴室暖房設定画面にする。
- 2) 選択スイッチ(上)で、浴室暖房「切」にする。

使いかた

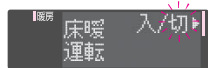
床暖房する

(138-3092型台所リモコン使用時)

(台所リモコン)



1 床暖スイッチを「入」にする



現在の状態を点滅で表します。
(初期設定=「切」)

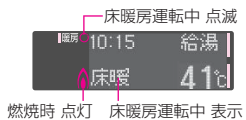
2 選択スイッチで床暖運転「入」にする



3 約20秒放置する
または、設定スイッチを押す

元の状態に戻ります。
運転スイッチ「入」にすると、
他の操作に移れます。

<運転スイッチ「入」時の表示例>



床暖運転をやめたいとき

手順1,2で床暖運転「切」にする。

運転スイッチを「切」にしても、床暖運転「切」にはなりません。

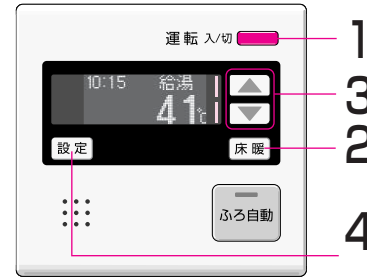
運転スイッチの「入・切」に関係なく床暖房できます。(イラストは「切」の状態です)

使いかた

床暖房の温度を調節する

(138-3092型台所リモコン使用時)

(台所リモコン)



1 運転スイッチを「入」にする



2 床暖スイッチを2回押して床暖房の調節画面にする



3 選択スイッチで床暖温度を調節する



*床暖房の温度を、9段階で調節できます。
*室温の自動調節はしないため、お好みの温度に調節してください。(初期設定=「5段階」)

4 設定スイッチを押して給湯表示画面に戻す



最後に設定スイッチを押し忘れた場合でも、3の段階で変更した温度で確定します。

使い始めや床暖房の温度調節をしたときは、設定温度になるまでに時間がかかります。

使いかた

床暖房する時間帯を予約する

(138-3092型台所リモコン使用時)

(台所リモコン)



1
3,4,5,6
2
7

- *あらかじめ設定しておいた時間帯に、自動的に床暖房します。
- 時間帯はお好みで複数設定できます。
- *一度予約設定すれば、予約解除するまで毎日設定した時間帯に自動的に床暖房します。
- *床面が暖まるまでに時間がかかるため、部屋を使用する約1時間前(※)から床暖房を始めるように予約すると効果的です。(※外気温や住宅構造等により異なります)

朝6時～8時と夜6時～10時に床暖房するよう 予約する場合で説明します。

予約前の準備

現在時刻が正しいかどうか確認する。
(P18)

1 運転スイッチを「入」にする

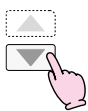


2 床暖スイッチを3回押して、床暖房の予約画面にする



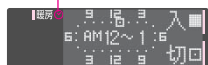
<一度設定すると記憶します>

3 選択スイッチ(下)で「予約」を選択する

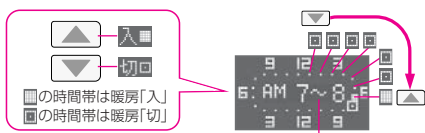


予約時間帯の設定画面になります。

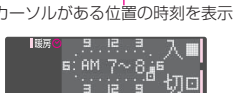
タイマー表示 点灯



4 選択スイッチ(下=「切」)を押し進めて行き AM6～7で選択スイッチ(上=「入」)を押す



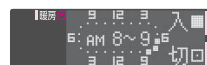
AM 6～7 が暖房「入」の設定になります。



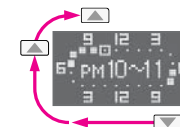
予約設定画面のまましばらく操作しないと、設定スイッチを押さなくてもその状態で予約します。

5 続けてAM7～8で選択スイッチ(上=「入」)を押す

AM 7～8 も暖房「入」の設定になります。



6 4と同様に、選択スイッチ(下=「切」)を押し進め、PM6～7, PM7～8, PM8～9, PM9～10で選択スイッチ(上=「入」)を押す



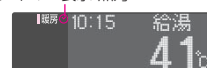
さらにPM 6～7, PM 7～8, PM 8～9, PM 9～10が暖房「入」の設定になります。



7 設定スイッチで給湯表示画面に戻す



タイマー表示 点灯



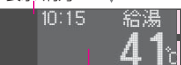
予約を解除するとき

1. 運転スイッチ「切」の場合は「入」にする。
2. 床暖スイッチで予約中画面にし、選択スイッチ(下)で予約「切」にする。

<予約中画面>



タイマー表示 消灯



暖房予約時間帯表示 消灯

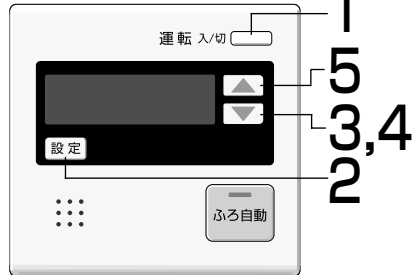
※予約を解除しても、設定内容は記憶しています。

予約中に予約時間帯を変更するとき

一度予約を解除してから、再度1～7の要領で設定し直してください。

使いかた 静音設定する

(台所リモコン)



夜など、暖房開始時の運転音が気になるときに、静音設定してください。

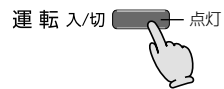
※静音設定できない製品もあります

静音設定のはたらき▶▶▶

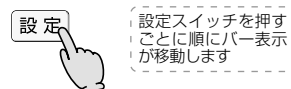
通常、暖房開始時は最大能力運転となりますが、静音設定することで暖房能力を低下させ、運転音を下げることができます。

<運転スイッチ「切」のとき>

1 運転スイッチを「入」にする



2 設定スイッチを押してバー表示を「暖房」の位置にする



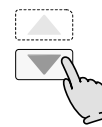
※放熱器の条件によって、設定スイッチを押したあとに出る表示が異なります。

この表示が出た場合は 次へ進んでください

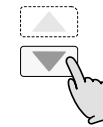
※「入/切」表示は前回設定したほうが点滅します(工場出荷時=「切」)



3 選択スイッチ(下)で「浴室暖房」を選択する

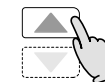


4 選択スイッチ(下)で「静音」を選択する



表示が異なる場合があります

5 選択スイッチ(上)で静音設定「入」にする



暖房時の運転音を下げ、暖房の運転をします。
(このとき暖房能力は少し低下します。)

静音設定をやめたいとき

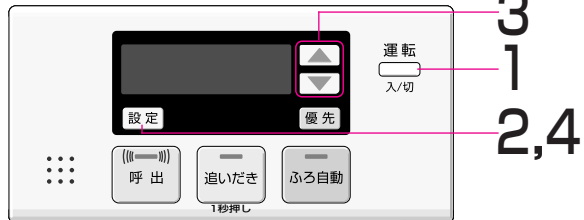
同じ手順で静音設定「切」にしてください。

ここに記載の表示以外が出る場合は、このリモコンでの静音設定はできません。

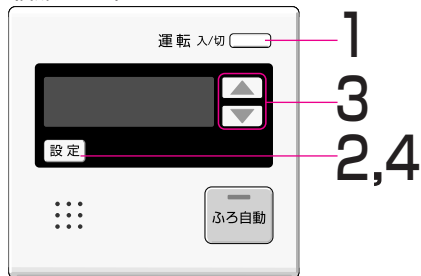
使いかた

各設定を変更する (おふろの保温時間、リモコンの音量・

(浴室リモコン)



(台所リモコン)

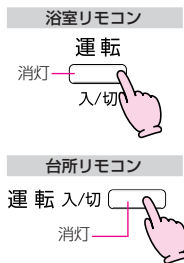


(1) 次のような設定の変更ができます	
おふろの保温時間	浴室リモコン・台所リモコンのどちらでも設定できます
リモコンの音量	それぞれのリモコンで設定してください
リモコンの音声ガイド	それぞれのリモコンで設定してください
リモコンの表示の節電	
機器の水抜き	浴室リモコン・台所リモコンのどちらでも設定できます
(2) リモコンに連絡先(電話番号)を表示できます	

※スタンダードタイプのふろアダプター使用時は「ふろ保温時間設定モード」はありません。

1 運転「切」にする

運転「切」の状態でのみ、各設定の変更ができます。



2 設定スイッチで変更したい設定を選ぶ

押すごとにそれぞれの設定に切り替わります。

次ページ 2

3 選択スイッチで変更する

それぞれの変更をします。

次ページ 3

4 設定が完了すれば設定スイッチを押す

続けて他の設定を変更する場合は、再度2~4の手順で変更してください。

そのまま機器を使用する場合は、運転スイッチを押して「入」にしてください。

使用しない場合は、そのまま約20秒放置しておくことで運転「切」の状態に戻ります。

音声ガイド・表示の節電、機器の水抜き/連絡先を表示させる

初期設定 (工場出荷時)

	2 設定スイッチで選ぶ (押すごとに切り替わります)	3 選択スイッチで変更する
保温時間	ふろ保温 4時間 (0~9)	(単位: 時間) 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ↑ 保温なし
音量	音量 中	なし 小 中 大 ※「なし」の設定でも「呼び出し音」(P17)と、高温さし湯時の「あついお湯が出ます」の音声は鳴ります。
音声ガイド	音声ガイド あり	あり 声でお知らせします なし 声でお知らせしません ※操作音と声の両方とも鳴らさないにするには、音量を「なし」に設定してください。
表示の節電	表示の節電 する	する 表示の節電をします(P2) しない 表示の節電をせず、スクロール表示します(P2)
機器の水抜き	機器の水抜き する	機器の水抜きをするときに「する」を選択してください。(P55)
連絡先電話番号表示	連絡先電話番号表示	故障のときなど、サービスを依頼される場合に、この方法でご覧ください。 ※連絡先電話番号が入力されていない場合があります。その場合はこの画面にはなりません。

使いかた

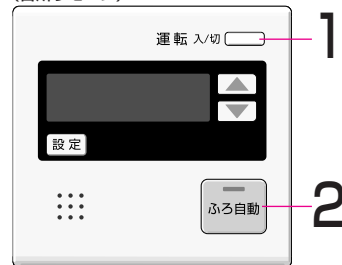
お風呂を自動で沸かす

スタンダードタイプの
ふるアダプター使用時

(浴室リモコン)



(台所リモコン)



※浴そうのふるアダプターには種類があります。

デラックスタイプの
ふるアダプター スタンダードタイプの
ふるアダプター



(この場合は、P23~28)

<運転スイッチ「切」のとき>

運転前の準備

1. 浴そうの排水栓を閉める。
2. 浴そうのふたをする。



1 運転スイッチを「入」にする

<浴室リモコン>



<台所リモコン>

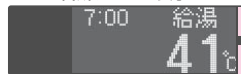


<浴室リモコン表示>



ふる温度 確認

<台所リモコン表示>



ふる温度・湯量の変更のしかた

21~22ページ参照

警告

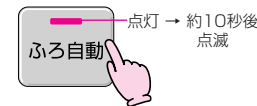


やけど予防のために。

高温注意

- お湯はりに中に、台所やシャワーなどでお湯を使用すると、ふる設定温度のお湯が出ます。お湯はりが終わると給湯設定温度のお湯が出ますので、給湯を高温に設定しているときは注意してください。

2 ふる自動スイッチを「入」にする



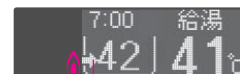
- 1) お湯はりを開始します。

ふる温度・ふる湯量が交互に点滅



10秒後

<浴室リモコン表示>



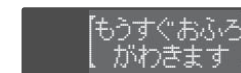
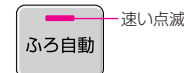
お湯はり中 表示

<台所リモコン表示>



お湯はり中 表示

- 2) 入浴できる状態に近づく、ランプが速い点滅に変わります。



※表示の節電中(P2.47,48)の場合でも、ふる自動スイッチを押すと運転を開始します。

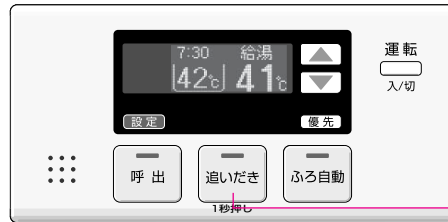
- 途中でお風呂沸かしをやめたいとき

ふる自動スイッチを「切」にする。(ランプ消灯)



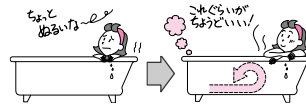
使いかた おふろの追いだき(高温差し湯)をする

(浴室リモコン)



スタンダードタイプの ふるアダプター使用時

お風呂のお湯の温度を少し上げたいときに。スイッチを押すと高温(約90℃)のお湯が入り、お風呂の温度を上げます。



※運転スイッチ「切」のときは必ず「入」にしてください。

運転前の準備

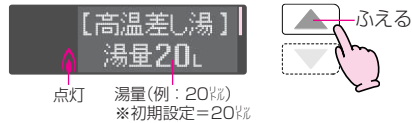
浴そうのふるアダプター上部より5 cm以上お湯(または水)が入っているか確認する。



1 追いだきスイッチを1秒以上押す。



“あついお湯がでます”と音声でお知らせします。



20, 30, 40%の値で調節できます。(目安の量)
 ●湯量は、一度使用したあとは20%の設定に戻ります。20%以外はそのつど設定しなおしてください。
 ●浴そうのお湯の量が多いとき、湯量を多く設定するとお湯があふれることがあります。

スイッチ操作後、約10秒すると給湯温度表示に変わります。
 ※表示節電中(※P2.47,48)の場合でも、追いだきスイッチを1秒以上押すと運転を開始します。

警告

ふるアダプターから熱いお湯が出ます。



<やけど予防のため>

- ふるアダプター付近は熱いのでさわらないでください。
- 追いだき停止後も、ふるアダプターから少しの間熱いお湯が出ます。
- 追いだきを入浴せずにおこなうときは、湯かげんを手で確認しよくかきまぜてから入浴してください。
- 浴そうにお湯(または水)が入っていない場合、追いだきはしないでください。
- 追いだき運転中は、浴そうの排水栓を絶対に抜かないでください。



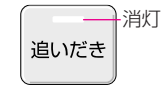
残り湯を沸かし直す場合

- 冬場極端に温度が低い残り湯を沸かし直す場合、高温さし湯、最大調節湯量40ℓでは、適温にならない場合があります。その場合は再度追いだきスイッチを押してください。

注意

- 沸かしすぎに注意してください。お好みの温度で自動的に停止しません。湯温が適温になったら、追いだきスイッチを押して止めてください。やけどのおそれがあります。

追いだき(高温差し湯)完了

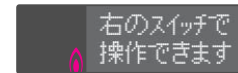


追いだきが完了すると追いだきスイッチのランプが消灯します。



注意

- お好みの温度で自動的に停止しません。湯温が適温になったら、再度追いだきスイッチを押して止めてください。やけどのおそれがあります。



※追いだき中に台所などでお湯を使うと、追いだきを中断し、矢印表示の動きが止まり、「高温」の表示がふる設定温度に変わります。お湯の使用が終わると、“あついお湯が出ます”とお知らせし、追いだきを再開します。

追いだきを途中でやめたいとき

もう一度、追いだきスイッチを押す。(ランプ消灯)

※ランプ消灯後しばらくして、燃焼表示(🔥)が消えます。



- 追いだき運転中に給湯・シャワーを使用すると、追いだき運転は一時停止し、給湯設定温度のお湯が出ます。給湯・シャワーを使用したあと、“あついお湯が出ます”と音声でお知らせし、追いだき運転を再開します。
- 「おふろの追いだき」は、おふろの自動沸かし中は使用できません。

凍結による破損を予防する -1

お願い

- * 暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがあります。
- * 凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料修理になります。

りますので、以下をお読みいただき、必ず必要な処置をしてください。

機器内は凍結予防ヒーターで自動的に凍結予防します

- 電源プラグを抜くと作動しないため、電源プラグは抜かない。
(運転スイッチ「入・切」に関係なく作動します。)

* 給水・給湯配管や、給水元栓およびふろ配管などの凍結は予防できません。必ず保温材または電気ヒーターを巻くなどの地域に応じた処置をしてください。(わからないときは、販売店に確認してください。)

- 浴そうの水を排水する。

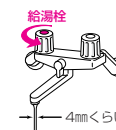
- 暖房回路を凍結予防するためには、ガス栓を開いたままにしておく。

- * 自動的に暖房運転(燃焼)して暖房回路の水をあたため、凍結を予防します。
(放熱器の種類によっては、暖房回路の凍結予防ができません。)
- * 不凍液を使用している場合もあります。(機器フロントカバー下部にラベルが貼ってある場合は不凍液を使用しています)
 - ・ 不凍液は大阪ガス指定品を使用してください。
 - ・ 指定以外の不凍液は、機器故障の原因になりますので、使用しないでください。
 - ・ 不凍液の取り扱い、不凍液の説明書に記載してある方法で正しく使用してください。

- 冷え込みが厳しいとき(注)は、以下の処置をする。

機器だけでなく、給水・給湯配管、給水元栓なども同時に凍結予防できます。

1. 運転スイッチを「切」にする。
2. おふろの給湯栓を開いて、少量の水(1分間に約400cc・・・太さ約4mm)を流したままにしておく。
※サーモ付混合水栓やシングルレバー混合水栓の場合は、最高温度の位置に設定してください。
3. 流量が不安定になることがあるので、約30分後に再度流れる量を確認する。
※結露現象予防として、運転スイッチ「切」の状態でも給湯栓から水を出さないようにお願いしていますが(※P7)、凍結予防の処置の場合は問題ありません。



(注)外気温が極端に低くなる日(-15℃以下)や、それ以上の気温でも風のある日

- * サーモ付混合水栓やシングルレバー混合水栓の場合は、再使用時の温度設定にご注意ください。やけど予防のため。
- * この処置をしても凍結するおそれのある場合には、次ページの要領で水抜きをおこなってください。

凍結して水が出ないとき

1. ガス栓・給水元栓を閉める。
2. リモコンの運転スイッチを切り、給湯栓を開ける。
3. ときどき給水元栓を開け、水が出ることを確認する。
4. 水が出るようになっても、機器や配管から水漏れがないかよく確認の上使用してください。
※この処置でガス栓を閉めても、ポンプの循環で暖房回路の凍結予防は保たれます。
ただし、ガス栓が「閉」になっているため、暖房側点火故障表示「113」を表示することがあります。

凍結した場合は、そのままでは絶対に使用しないでください。(暖房運転もしないでください)機器の故障の原因となります。

凍結による破損を予防する -2

長期間使用しないときは、水抜きをしてください

注意



お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、機器が冷えてからおこなってください。
やけど予防のため。

- ・右ページイラストを参照してください。
- ・水抜き栓などからお湯または水が約850cc出ますので、機器の下に容器などを置いて排水を受けてください。

ガス元栓・給水元栓を開める

- 1 ガス栓を開める。
- 2 給水元栓を開める。

機器の水抜き

- 3 浴そう内の水を完全に排水する。
- 4 1) リモコンの運転スイッチを「切」にする。
2) P47～48「各設定を変更する」の要領で「機器の水抜き」の設定をする。
- 5 すべての給湯栓を全開にする。
- 6 1) 屋外設置形の場合は、給湯水抜き栓①(フィルター付)を左に回して開け、外す。(排水します)
屋内設置形の場合は、給湯水抜き栓①のA部を左に回して開ける。(排水します)
2) エアーチャージ栓を左に回して開ける。
3) 給湯水抜き栓②を左に回して開け、外す。(排水します)
- 7 風呂水抜き栓①②を左に回して開け、排水します。
- 8 機器フロントカバー下部にあるラベルで、不凍液が入っているかどうか確認する。



<不凍液が入っている場合> …… 以下の9の操作は必要ありません。
<不凍液が入っていない場合> …… 以下の9の操作で水抜きしてください。ただし、放熱器や暖房配管の凍結予防はできません。

- 9 暖房水抜き栓①②③を左に回して開ける。

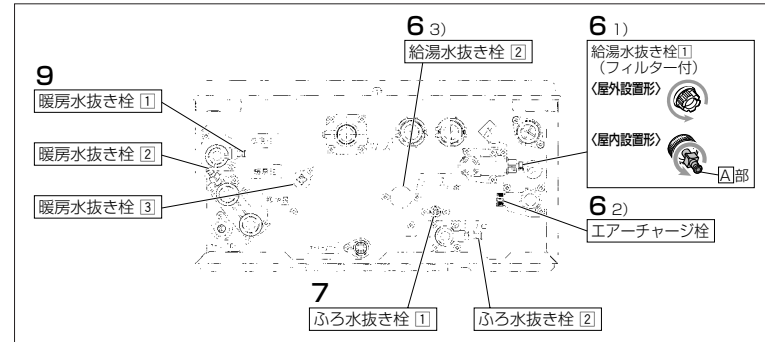
最後に

- 10 電源プラグを抜く。ぬれた手でさわらないで
- 11 すべて排水されたことを確認したあと、すべての水抜き栓・ 에어チャージ栓、すべての給湯栓を開める。

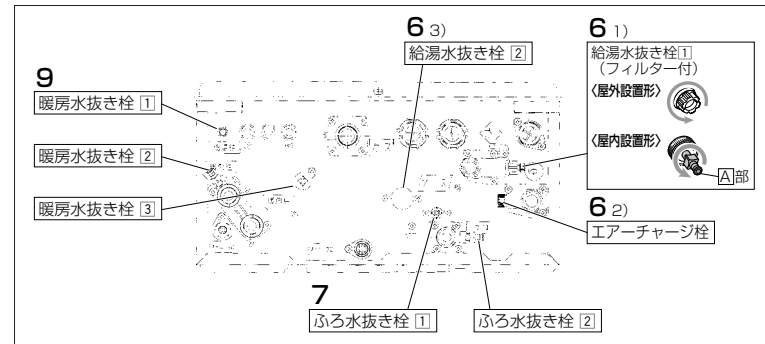
(注) * 風呂側の水抜きをおこなったあとは、浴そうに水を流し込まないでください。
* 水抜きを中止する場合は、運転スイッチを「入」にしてください。
* 水抜きの途中で電源コンセントを抜かないでください。

<下から見た図>

135-7020・7110型シリーズ



135-7010・7100型シリーズ



水抜き後の再使用のとき

1. すべての水抜き栓・ エアーチャージ栓・ 給湯栓が閉まっていることを確認する。
2. 給水元栓を開ける。
3. すべての給湯栓を開け、水が出ることを確認してから閉め、機器や配管から水漏れがないかよく確認する。
4. ガス栓を開け、電源プラグをコンセントに差し込む。

※通水後初めての暖房使用で、リモコンに故障表示(543)(173)が出る場合

放熱器側の運転とリモコンの運転スイッチをいったん「切」にし、機器の給水元栓が開いていること・すべての暖房水抜き栓が閉まっていることを確認し、電源プラグを抜き、再度電源プラグを差し込んで再使用してください。

日常の点検・お手入れのしかた

注意



点検・お手入れは、運転「切」にしておこなってください。
お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、機器が冷えてからおこなってください。
やけど予防のため。

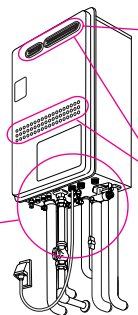
点検(月1回程度)

チェック 機器や排気口のまわりに洗濯物・新聞紙・木材・灯油・スプレー缶など、燃えやすいものを置いていないか？

→ 燃えやすいものを置かない。(P5)

チェック * 機器の外観に異常な変色や傷はないか？
* 運転中に機器から異常音が聞こえないか？
* 機器・配管から水漏れはないか？

→ 現象があった場合は、販売店または、もよりの大阪ガスへご連絡ください。



チェック 排気口にススがついていないか？

→ ついていたら、販売店または、もよりの大阪ガスへご連絡ください。

チェック 排気口・給気口がほこりなどでふさがっているか？

→ ふさがっている場合は、掃除する。

(例:135-7010型)

お手入れ (月1回程度)

機器本体

機器本体の外装の汚れは、ぬれた布で落したあと充分水気をふきとってください。
特に汚れのひどいときには、中性洗剤を使用してください。

リモコン

リモコンの表面が汚れたときは、湿った布でふいてください。

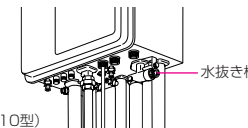
- リモコンの掃除にはベンジンや油脂系の洗剤を使用しないでください。
変形する場合があります。
- 浴室リモコン・防水型増設リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。
(台所リモコン・増設リモコンは防水タイプではありません。)

給湯水抜き栓①(フィルター付)

給湯水抜き栓のフィルターにゴミ等が詰まると、お湯の出が悪くなったりお湯にならない場合がありますので、以下の方法で掃除をしてください。

※お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、運転「切」にして機器が冷えてからおこなってください。(やけど予防のため)

※水抜き栓などからお湯または水が出ますので、機器の下に容器などを置いて排水を受けてください。

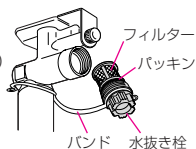


1. 給水元栓を閉める。
2. すべての給湯栓を開ける。

(例:135-7010型)

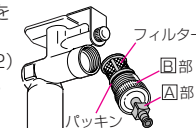
【屋外設置形の場合】

3. 水抜き栓を外す。(注1)
4. 配管とつながっているバンドから外す。
5. フィルター部分を歯ブラシなどで水洗いする。(注2)
6. 元どおりに水抜き栓を取り付ける。



【屋内設置形の場合】

3. ①部を開ける。(注1)
4. 水が完全に抜けたら、②部を外す。(注1)
5. フィルター部分を歯ブラシなどで水洗いする。(注2)
6. 元どおりに②部を取り付け、①部を閉める。



(注1)このとき水(湯)が出ます。

(注2)水抜き栓からフィルターが外れた場合は、水抜き栓とフィルター間のパッキンをなくさないように注意してください。

7. すべての給湯栓を閉める。
8. 給水元栓を開け、水抜き栓の周囲に水漏れがないことを確認する。

<定期点検のすすめ(有料)>

ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年一回程度の定期点検をおすすめします。販売店にご相談ください。

故障・異常かな？と思ったら-1

「温度」に関すること

給湯栓を開いてもお湯が出てこない	<ul style="list-style-type: none"> * ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ * 断水していませんか？ * 給湯栓は充分開いていますか？ * ガスメータ(マイコンメータ)がガスをしゃ断していませんか？ * LPガスの場合、ガスがなくなっていますか？ * 給湯水抜き栓のフィルターにゴミなどが詰まっていますか？(P58) * 凍結していませんか？ * 運転スイッチは「切」になっていませんか？
給湯栓を開いてもすぐお湯にならない	<ul style="list-style-type: none"> * 機器から給湯栓まで距離があるので、お湯が出てくるまで少し時間がかかります。
低温のお湯が出ない	<ul style="list-style-type: none"> * ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ * 給湯温度設定は適切ですか？(P19、20) * 水温が高いときに、低温のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなる場合があります。 * 少量のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなる場合があります。
高温のお湯が出ない	<ul style="list-style-type: none"> * ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ * 給湯温度設定は適切ですか？(P19、20) * お湯はりまたはお湯中に台所などでお湯を使用すると、ふろ設定温度のお湯が出ます。お湯はりまたはお湯が終わっても、お湯の使用をいったんやめるまでは、高温のお湯は出ません。(給湯温度設定が高温のときのやけど予防のため) * リモコンの表示はそのままです。 <例：給湯温度の設定60℃→お湯の温度40℃>
給湯栓を絞ると水になった	<ul style="list-style-type: none"> * 給湯栓から流れるお湯の量が1分間に約3.5ℓ以下になったとき消火します。給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。
給湯温度の調節ができない	<ul style="list-style-type: none"> * 操作しているリモコンに優先切替えていますか？(P20)
お風呂のお湯がぬるい お風呂のお湯があつい	<ul style="list-style-type: none"> * ふろ温度設定は適切ですか？(P21)
ふろ設定温度どおりに沸き上がらない	<ul style="list-style-type: none"> * お湯はり中にふろ温度を低く設定しなおした場合、実際の沸き上がりの温度は設定温度より高くなる場合があります。
床面がなかなか暖まらない	<ul style="list-style-type: none"> * 床仕上げ材の種類・外気温度・住宅構造等によって、暖かくなるまでの時間は異なります。P43.44「床暖房する時間帯を予約する」の方法で、効果的にご利用ください。 (参考：厚さ12mmの木質フローリングの場合、正常な床温度は約30℃です)
部屋が暖まらない	<ul style="list-style-type: none"> * 温水床暖房の敷設面積率が低い場合、暖まらないことがあります。補助的にストーブ(ホットカーペットを除くP6)などの暖房機具を合わせてご利用ください。
床面の暖かさが場所によって異なる	<ul style="list-style-type: none"> * 温水配管内に温水を循環させて床を温めるしくみになっています。温水配管の通っているところと通っていないところでは、床面の温度に若干の差が生じます。
床暖房の温度変更をしていないのに、床面の温度が下がった	<ul style="list-style-type: none"> * 床暖房しはじめは、早く床面を温めるために高温の温水を流し、ある程度時間がたつと、温水を一定の温度に下げます。故障ではありません。

「湯量」に関すること

給湯栓から出るお湯の量が変化する	<ul style="list-style-type: none"> * お湯を使用中、他の場所でお湯を使用したり、お風呂の自動沸かしをすると、お湯の量が減る場合があります。水道の圧力や配管条件によっては、極端にお湯の量が減ったり、いったん止まる場合がありますが、しばらくすると安定します。 * お湯の温度を安定させるため、お湯の出始めは少なく出し、安定するとお湯をたくさん出すように機器側で制御します。 * 給湯栓の種類によっては、初め多く出てその後安定するなど、出湯量が変わるものがあります。
お風呂の自動沸かしで、設定した湯量にならない	<ul style="list-style-type: none"> * ふろ湯量設定は適切ですか？(P22) * お風呂の自動沸かしが完了しないうちにふろ自動スイッチを何度も「切」にしたリ「入」にしたりを繰り返すと、お湯があふれることがあります。

「リモコン」に関すること

運転ランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> * 停電していませんか？ * 電源プラグが差し込まれていますか？
時計表示が0：00になっている	<ul style="list-style-type: none"> * 停電後、再通電すると時計表示が0：00になりますので時計合わせしなおしてください。なお、給湯・ふろ設定温度表示・ふろ湯量表示などもお買い上げ時の設定に変わる場合がありますので、確認してください。
リモコンの画面表示がいつのまにか流れるように動いている	<ul style="list-style-type: none"> * 機器を使用しないまま約10分たつと、画面の焼付防止のため、画面の状態が変わります。(スクロール表示)(P2) 再使用したり、スイッチを押すと、スクロール表示を解除します。
リモコンの画面表示がいつのまにか消えている	<ul style="list-style-type: none"> * 表示の節電を「する」に設定した場合、機器を使用しないまま約10分たつと画面表示が消えます。(P2、47、48) 再使用したり、スイッチを押すと、表示の節電を解除します。
スイッチを押してもそのスイッチの動作をしない (例)運転スイッチを押して「切」にしたはずなのに切れていない など…	<ul style="list-style-type: none"> <呼び出し・追いだし・ふろ自動以外のスイッチの場合> * 表示の節電中やスクロール表示中にスイッチを1回押すと、その状態を解除し、もう1回押すとそのスイッチの機能がはたらく。運転「入・切」は、ランプの点灯・消灯で確認してください。
表示の節電の状態にならない	<ul style="list-style-type: none"> * 表示の節電「する」の設定になっていますか？(P47、48) * 給湯温度を60℃に設定している場合は、表示の節電にはなりません。

故障・異常かな？と思ったら-2

「音」に関すること

浴そうのふろアダプターから「ポコ、ポコ」と空気の出る音がすることがある	*おふろの配管などにたまった空気や、逆流防止機能装置から入った空気が出る音で、異常ではありません。
運転を停止してもしばらくの間ファンの回転音(ブーン)がする	*再使用時の点火をより早くするため、また、再使用時にお湯の温度を早く安定させるために、機器が作動している音です。
運転スイッチを「入・切」したり、給湯栓を開閉したり、機器の使用後しばらくするとモーターが動く音(クックッ、クー)がする	
ポンプの回転音(ウーン)がする	*長期間使用しない場合に、床暖房回路内にたまった空気を抜き、次回使用するときに支障がないようにするためにポンプが自動的に回ります。(1ヶ月ごと約8分間) *凍結予防のため、ポンプが回り暖房燃焼します。
床暖房中に音がする	*床暖房の熱によって、温水床暖房マットや床仕上げ材などが収縮・膨張するため発生する音です。 *温水の流れる音です。

床面について

床面の足ざわりが場所によって異なる	*温水配管の接続部や温水配管などがあるため、床面の足ざわりが周囲と異なる場合があります。
床面に凸凹や段差がある	*温水床暖房マットを2枚以上併設しているときや、床仕上げ材と周辺の継ぎ合わせ部等には多少の凸凹があるため、光の当たり具合により目立つことがあります。
床面の継ぎ目に隙間がある	*暖房を使用することにより、乾燥して仕上げ材が収縮し、継ぎ目にわずかな隙間が生じる場合があります。
床面が変色した	*床仕上げ材に直射日光が長時間当たると、日焼けによる変色やひび割れが生じる場合があります。カーテンやブラインドなどでさえぎるようにしてください。

その他

使用中に消火した	*ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ *断水していませんか？ *給湯栓は充分開いていますか？ *ガスメーター(マイコンメーター)がガスをしゃ断していませんか？ *LPガスの場合、ガスがなくなっていないですか？
寒い日に排気口・給排気筒トップから湯気が出る	*冬に吐く息が白く見えるように排気ガス中の水蒸気が白く見えます。
お湯が白く濁って見える	*これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられて、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。 ビール・サイダーなどの泡と似た現象であり汚濁とは違い、無害です。
おふろの自動沸かしに通常より時間がかかる	*おふろの自動沸かし中にお湯を使った場合、お湯はりに使うお湯の一部を給湯で使うため、お湯はりに時間がかかります。
追っだしスイッチを押しても追っだししない	*浴そうのふろアダプター上部より5cm以上お湯または、水が入っていますか？ *水がふろアダプターより上部にある場合は、しばらくしてから再度追っだしスイッチを押してください。
エアーチャージ栓(過圧防止安全装置)から、お湯(水)が少しの間出ることがある	*機器内に高い圧力が生じたとき、過圧防止安全装置のはたらきにより、エアーチャージ栓から水滴が落ちることがあります。
水が青く見える 浴そうや洗面台が青く変色した	*水中に含まれるわずかな銅イオンが水中に溶け出して青色の化合物が生成され、水が青く見えたり、浴そうや洗面台が青く変色したりすることがありますが健康上問題ありません。浴そうや洗面台はこまめに掃除することにより、発色しにくくなります。
ふろアダプターから水が流れればなしになる	*追っだし中に停電すると、ふろアダプターから水が流れればなしになりますので、給水元栓を閉じてください。

故障・異常かな？と思ったら-3

故障表示をお調べください

不具合が生じたとき、時計表示部に故障表示が点滅します。
下表に応じた処置をしてください。



故障表示	原因	処置
011	給湯を連続60分以上運転したため	給湯栓を閉め、運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして使用してください。
111	給湯側の点火エラーが生じたため	運転スイッチを「切」にし、下記※の事項を確認して、問題があれば処置してください。その後運転スイッチを「入」にし、給湯栓を開いて表示が出なければ正常です。
113	暖房側の点火エラーが生じたため	運転スイッチと放熱器側の運転を「切」にし、下記※の事項を確認して、問題があれば処置してください。その後運転スイッチと放熱器側の運転を「入」にして、暖房運転を押し、表示が出なければ正常です。
152	ふろアダプターが閉塞したため	運転スイッチを「切」にし、浴槽の水位がふろアダプター上部より5cm以上あることを確認して、問題があれば処置してください。ふろ配管内の高温水が冷めるまでしばらく待って、運転スイッチを「入」にし、操作してください。
161	お湯の温度が設定温度より異常に上がりすぎたため	給湯栓を閉め、運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして、給湯栓をもっと開いて使用してください。
152 562 542	断水などで水が通っていないため（おふろの自動沸かし、追いだし湯、さし水の時）	給水元栓が開いているか、断水していないか（カランから水が出るか）を確認し、いったん運転スイッチを「切」にし、通水を確認してから再使用してください。
901 903	機器の燃焼に異常が生じたため	修理を依頼してください。
101 103	給排気に異常が生じたため、安全のために給湯能力を低下させます	能力低下の状態で使用できますが、安全のため点検を受けてください。
991 993	機器の燃焼に異常が生じたため	修理を依頼してください。

※111 113 確認事項

- ・ガス栓が開いているか
- ・ガスメータ(マイコンメータ)がガスをしゃ断していないか
- ・LPガスの場合、ガスがなくなっていないか

以下の場合、販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください

- 前記以外の表示（例：611 など）が出る時
- 前記の処置をしてもなお表示が繰り返し出るとき
- その他、わからないとき

[011] 次へ▶ 左のような表示が出た場合は、▲スイッチを押していくことにより、連絡先電話番号を見ることができます

<次のような表示が出ます>



※連絡先電話番号が入力されていない場合があります。その場合、電話番号表示は出ません。

アフターサービスについて

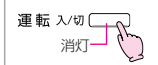
サービスを依頼されるとき

P59～64の「故障・異常かな?と思ったら」を調べていただき、なお異常のあるときは、販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

連絡していただきたい内容

製品名 …………… 下記の要領で、リモコンで製品名をお調べください

1 運転スイッチを「切」にする



運転 入/切
消灯

2 選択スイッチ(上)を 2秒 押す

<リモコン表示画面の表示例>

キッシュコード

[○○○○]

○○○○○○○○○

○

製品名

※製品名をお知らせください。

運転スイッチを「入」にするか、しばらくすると、表示が消えます。

お買い上げ日 … 保証書をご覧ください

異常の状況 …… 故障表示など、できるだけ詳しく

ご住所・ご氏名・電話番号

訪問ご希望日



保証について

別添で保証書がついています。

必ず「販売店名・お買い上げ日等」が記入されているのを確認してください。保証書の内容をよくお読みになったあとは、大切に保管しておいてください。

無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造切後10年です。

但し、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

移設される場合

転居などで機器を移設されるときは、機器(銘板)に表示してあるガスの種類・電源(電圧・周波数)が移設先と合っているか必ずご確認ください。

不明のときは、移設先のガス事業者、販売店または、もよりの大阪ガスにご相談ください。

ガスの種類の異なる地域へ移設されるときは、機器の改造・調整が必要です。この改造・調整に伴う費用は、保証期間中でも有料です。

主な仕様-1

- ・本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
- ・出湯能力は湯水混合の計算値です。
- ・但し、水圧、給湯配管の条件、お湯の設定温度によって多少異なります。
- ・ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。

仕様表

24号						
製品名	135-7010型	135-7012型	135-7014型	135-7015型	135-7016型	135-7018型
型式名	YG2458R	YG2458RT	YG2458RN	YG2458RM	YG2458RH	YG2458FTH
種類	給湯方式 先止め式					
設置方式	屋外設置形 屋内設置形					
点火方式	放電点火式					
使用水圧 (kPa)	98.1～684 (1.0～7.0kgf/cm ²)					
作動水圧 (kPa)	9.81 (0.1kgf/cm ²)					
最低作動流量 (ℓ/分)	3.5					
外形寸法 (mm)	高さ750×幅480×奥行240					
質量 (本体) (kg)	40	41	41	41	42	42
ふろ	R1/2					
接続	暖房(行き・戻り) 高温行き、戻り…QF16ジョイント 低温行き…CHジョイント×3					
給湯	R3/4					
給水	R3/4					
ガス	都市ガス…R3/4, LPガス…R1/2					
オーバーフロー	R1/2					
電源	AC100V (50/60Hz)					
消費電力 (50/60Hz) (W)	165/190	195/215	170/195	195/215	200/215	200/215
凍結予防ヒータ	177					
待機消費電力 (W)	運転スイッチ「入」約16W (省電力モード: 約4.6W)、「切」約4.2W <台所・浴室リモコン取付>					
湯温制御方式	電子式ガス比例制御方式					
安全装置	立消え安全装置、空だき防止装置、過熱防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、漏電安全装置、空だき安全装置、沸騰防止装置、停電時安全装置、ファン回転検知装置、過電流防止装置、誘導雷保護装置					

24号						
製品名	135-7020型	135-7022型	135-7024型	135-7025型	135-7026型	135-7028型
型式名	YG2457R	YG2457RT	YG2457RN	YG2457RM	YG2457RH	YG2457FTH
種類	給湯方式 先止め式					
設置方式	屋外設置形 屋内設置形					
点火方式	放電点火式					
使用水圧 (kPa)	98.1～684 (1.0～7.0kgf/cm ²)					
作動水圧 (kPa)	9.81 (0.1kgf/cm ²)					
最低作動流量 (ℓ/分)	3.5					
外形寸法 (mm)	高さ750×幅480×奥行240					
質量 (本体) (kg)	40	41	41	41	42	42
ふろ	R1/2					
接続	暖房(行き・戻り) QF16ジョイント					
給湯	R3/4					
給水	R3/4					
ガス	都市ガス…R3/4, LPガス…R1/2					
オーバーフロー	R1/2					
電源	AC100V (50/60Hz)					
消費電力 (50/60Hz) (W)	155/180	185/205	160/185	180/205	185/205	185/205
凍結予防ヒータ	177					
待機消費電力 (W)	運転スイッチ「入」約16W (省電力モード: 約4.6W)、「切」約4.2W <台所・浴室リモコン取付>					
湯温制御方式	電子式ガス比例制御方式					
安全装置	立消え安全装置、空だき防止装置、過熱防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、漏電安全装置、空だき安全装置、沸騰防止装置、停電時安全装置、ファン回転検知装置、過電流防止装置、誘導雷保護装置					

主な仕様-2

- ・本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
- ・出湯能力は湯水混合の計算値です。
- ・但し、水圧、給湯配管の条件、お湯の設定温度によって多少異なります。
- ・ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。

16号						
製品名	135-7100型	135-7102型	135-7104型	135-7105型	135-7106型	135-7108型
型式名	YG1658R	YG1658RT	YG1658RN	YG1658RM	YG1658RH	YG1658FTH
種類	給湯方式 先止め式		屋外設置形			屋内設置形
点	火方式 放電点火式					
水	使用水圧 <kPa> 98.1~684 (1.0~7.0kgf/cm ²)					
圧	作動水圧 <kPa> 9.81 (0.1kgf/cm ²)					
最低	作動流量<ℓ/分> 3.5					
外形	寸法 <mm> 高さ750×幅480×奥行240					
質	量(本体) <kg> 39 40 40 40 40 40					
心	ろ R1/2					
接	続 暖房(行き・戻り) 高温行き、戻り…QF16ジョイント 低温行き…CHジョイント×3					
給	湯 R1/2					
口	給 水 R1/2					
径	ガ ス 都市ガス…R3/4、LPガス…R1/2					
オー	バーフロー R1/2					
電	源 AC100V (50/60Hz)					
消費	電力(50/60Hz) <W> 155/185		195/220	160/190	190/215	185/210 195/220
関係	待機消費電力 運転スイッチ「入」約16W(省電力モード:約4.6W)、「切」約4.2W <台所・浴室リモコン取付> 凍結予防ヒータ 177 凍結予防ヒータ 187					
湯	温 制御方式 電子式ガス比例制御方式					
安	全 装 置 立消え安全装置、空だき防止装置、過熱防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、漏電安全装置、空だき安全装置、沸騰防止装置、停電時安全装置、ファン回転検知装置、過電流防止装置、誘導雷保護装置					

16号						
製品名	135-7110型	135-7112型	135-7114型	135-7115型	135-7116型	135-7118型
型式名	YG1657R	YG1657RT	YG1657RN	YG1657RM	YG1657RH	YG1657FTH
種類	給湯方式 先止め式		屋外設置形			屋内設置形
点	火方式 放電点火式					
水	使用水圧 <kPa> 98.1~684 (1.0~7.0kgf/cm ²)					
圧	作動水圧 <kPa> 9.81 (0.1kgf/cm ²)					
最低	作動流量<ℓ/分> 3.5					
外形	寸法 <mm> 高さ750×幅480×奥行240					
質	量(本体) <kg> 39 40 40 40 40 40					
心	ろ R1/2					
接	続 暖房(行き・戻り) QF16ジョイント					
給	湯 R1/2					
口	給 水 R1/2					
径	ガ ス 都市ガス…R3/4、LPガス…R1/2					
オー	バーフロー R1/2					
電	源 AC100V (50/60Hz)					
消費	電力(50/60Hz) <W> 145/175		185/210	150/180	180/205	175/200 185/210
関係	待機消費電力 運転スイッチ「入」約16W(省電力モード:約4.6W)、「切」約4.2W <台所・浴室リモコン取付> 凍結予防ヒータ 177 凍結予防ヒータ 187					
湯	温 制御方式 電子式ガス比例制御方式					
安	全 装 置 立消え安全装置、空だき防止装置、過熱防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、漏電安全装置、空だき安全装置、沸騰防止装置、停電時安全装置、ファン回転検知装置、過電流防止装置、誘導雷保護装置					

能力表

※製品名は仕様表を参照してください。

24号	型式名	1時間当りのガス消費量(最大消費量)			出湯能力(最大時) <ℓ/分>	
		給湯暖房(ふる)併用	給湯側	暖房側	水温+25℃上昇	水温+40℃上昇
都市ガス <kW(kwh/h)>	13A	69.5 (59,800)	52.3 (45,000)	17.2 (14,800)	24	15
	12A	64.8 (55,700)	48.7 (41,900)	16.0 (13,800)	22.5	14
LPガス <kW(kg/h)>		69.5 (4.97)	52.3 (3.74)	17.2 (1.23)	24	15

※型式名の最後に-Hのつく製品は、都市ガス13A、12Aのみです。

16号	型式名	1時間当りのガス消費量(最大消費量)			出湯能力(最大時) <ℓ/分>	
		給湯暖房(ふる)併用	給湯側	暖房側	水温+25℃上昇	水温+40℃上昇
都市ガス <kW(kwh/h)>	13A	52.1 (44,800)	34.9 (30,000)	17.2 (14,800)	16	10
	12A	48.6 (41,800)	32.6 (28,000)	16.0 (13,800)	15	9.5
LPガス <kW(kg/h)>		52.1 (3.72)	34.9 (2.49)	17.2 (1.23)	16	10

※型式名の最後に-Hのつく製品は、都市ガス13A、12Aのみです。